

3-2. 教員・研究員の研究教育活動報告

I. 木股文昭

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆学術論文 (レフェリーあり)

- (1) Agustan, Fumiaki Kimata, Yoga Era Pamitro, Hasanuddin Z. Abidin, Understanding the 2007-2008 eruption of Anak Krakatau Volcano by combining remote sensing technique and seismic data, International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation, 14, 73-82, 2012.

◆著書

- (1) 三連動地震 迫るー東海・東南海・南海 中日新聞社, 2011.10.

◆学術研究発表等 (注: 招待講演の場合はその旨を付記)

- (1) 井上 公・熊谷博之・木股文昭・長尾年恭・レナート ソリドゥム・バート バウティスタ, フィリピン地震火山監視強化と防災情報の利活用推進: その2, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (2) 熊谷博之・山品匡史・前田裕太・Rudy Lacson・Mel Figueroa・長尾年恭・竹内昭洋・笹井洋一・橋本武志・Paul Alanis・Juan Cordon・木股文昭・大倉敬宏・Hirotaka Obata・Akira Wada・Agnes Aguilar・Jaime Sincioco, フィリピン・タール火山の火山監視観測網の構築, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (3) Gunawan Endra, Takeshi Sagiya, Takeo Ito, Fumiaki Kimata, Takao Tabei, Didik Sugiyanto, Irwandi, Viscoelastic Model of 2004 Sumatra-Andaman Earthquake observed from near (AGNeSS) and far field GPS measurements, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (4) 今給黎哲郎・塩谷 俊治・木股文昭・テレシト バコルコル, ミンダナオ島(フィリピン)における GPS 地殻変動連続観測 (序報), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (5) 松村祥央・木股文昭・トト バコール・アルフィー ペリシアーノ・edowa-do・レナート ソリダム, GPS 観測による 2006 年マヨン火山噴火過程の解明, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (6) Ampana Suame, Fumiaki Kimata, Post-Eruptive Deformation of the 2006 Rabaul Volcano (PNG) Eruption Detected by ALOS-SAR Data, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (7) Gunawan E., T. Sagiya, Y. Ito, F. Kimata, T. Tabei, I. Meilano, D. Sugiyanto, Irwandi, Afterslip Following 2004 Sumatra-Andaman Earthquake in Northern Sumatra Deduced from AGNeSS data, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.

◆その他 (発表, 講演)

- (1) 測地学で見る焼岳・御嶽山の火山活動, 日本測地学会第 116 回講演会, 2011 年公開講座「測地学が解明する飛騨・高山の地震・火山活動と地殻変動」, 高山市民文化会館小ホール,

2011,10,29.

V. 委員会, 審議会等委員

(1) 地震・火山噴火予知研究協議会火山分科会

◆地方公共団体関係

(1) 御嶽山 火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会

VII. 国際学術交流 (注: 科研費以外のものも含む)

(1) JICA 研修コース「地震津波火山観測システムの運用, 管理」のチームリーダー, 2006/7-2012/3.

(2) 日本学術振興会二国間交流事業共同研究「スマトラ北部におけるスマトラ地震余効すべり過程とスマトラ断層歪み蓄積過程の解明」2010-2012/3.

(3) 日本学術振興会若手研究者招聘事業東アジア首脳会議参加国からの招聘「アジアにおける激甚地震津波災害の多国間文理連携研究基盤の形成」2011.7-2011.12.28.

I. 山岡耕春

II. 論文・著書・研究発表等

◆学術論文 (レフェリーあり)

(1) Jordan, T., Y.T.Chen, P Gasparini, R. Madariaga, I. Main, W. Marzocchi, G. Papadopoulos, G. Sobolev, K. Yamaoka and J Zhchau, Operational Earthquake Forecasting - state of knowledge and guidelines for utilization, Annals of Geophysics, 54,4,doi:10.4401/ag-5350, 2011.

(2) 河村 将, 工藤 健, 山岡耕春, 古本宗充, 統計的アプローチによる地殻活動解明(2)各種地殻活動情報と大規模内陸地震発生との総合相関評価システム構築, 地震, 63, pp.123-137, 2011.

◆学術研究発表等 (注, 招待講演の場合はその旨を付記)

(1) 山岡 耕春, 2009年ラクイラの地震と実用的地震予測に関する国際委員会, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05. [招待講演]

(2) 河村 将・工藤 健・山岡耕春, 異なる物理指標間の空間的相関の時間変化に基づく地殻現象理解 (4), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.

(3) 小林由実・渡辺俊樹・山岡耕春・生田領野・西上欽也, ACROSS を用いた野島断層構造のモニタリング, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.

(4) 飯高 隆・加藤愛太郎・生田領野・吉田康宏・勝俣 啓・岩崎貴哉・酒井慎一・津村紀子・山岡耕春・渡辺俊樹・國友孝洋・山崎文人・大久保慎人・鈴木貞臣・平田 直, 東海地域における異方性観測, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05

(5) 山岡耕春・生田領野・渡辺俊樹・道下剛史・野口静男・宮川 衛, 低周波制御震源を用いた地下伝達関数取得実験, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05

(6) 笠原順三・伊藤慎司・藤原友宏・羽佐田葉子・鶴我佳代子・生田領野・藤井直之・山岡耕春・西上欽也・伊藤 潔, 野島断層付近での地下への空気の圧入に伴う変化の検出実証試験, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.

(7) 國友孝洋・吉田康宏・勝間田明男・山岡耕春・渡辺俊樹・加藤愛太郎・飯高 隆・生田領野・

勝俣 啓・岩崎貴哉・酒井慎一・山崎文人・津村紀子 野崎謙治・高橋福助・大久保慎人・鈴木貞臣・平田 直, 弾性波アクロスによる土岐-森町-牧之原測線下の地殻構造の推定, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.

- (8) 宮町宏樹・井口正人・山岡耕春・渡辺俊樹・八木原寛・為栗 健・三ヶ田均・竹中博士・清水 洋, アクロスによる桜島火山のマグマ移動検出に向けた能動的アプローチ, 日本火山学会 2011 年秋季大会, 旭川 (北海道), 2011.10.
- (9) 山岡耕春・渡辺俊樹・道下剛史・宮町宏樹・井口正人, 桜島における ACROSS 観測可能性の検討, 日本火山学会 2011 年秋季大会, 旭川 (北海道), 2011.10.
- (10) 鶴我佳代子・笠原順三・伊藤慎司・山岡耕春・生田領野・藤井直之・伊藤 潔・西上欽也・山崎文人・本城泰樹, 淡路島野島断層付近におけるアクロス震源を用いたタイムラプス試験観測-観測結果(2), 物理探査学会 125 回 (平成 23 年度秋季) 学術講演会, 秋田, 2011.09.
- (11) 笠原順三・山石 毅・伊藤慎司・藤井直之・中川 功・羽佐田葉子・山岡耕春・生田領野・西上欽也, 淡路島野島断層付近における空気注入に伴う地中における空気の拡散過程と降雨の影響, 物理探査学会 125 回 (平成 23 年度秋季) 学術講演会, 秋田, 2011.09.
- (12) Yamaoka, K., Watanabe, T., Michishita, T., Miyamachi, H. and Iguchi, M. , Monitoring for Active Volcanoes - A challenge at Sakurajima volcano, AGU 2010 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12. [招待講演]
- (13) Iidaka, T., Kato, A., Ikuta, R., Yoshida, Y., Katsumata, K., Iwasaki, T., Sakai, S., Tsumura, N., Yamaoka, K., Watanabe, T., Kunitomo, T., Yamazaki, F., Okubo, M., Suzuki, S. and Hirata, N. , The lateral variation of the shear-wave splitting values just above the subducting ridge, AGU 2010 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.

III. 国内外での学術活動

◆学会の理事・評議員等

- (1) 日本地震学会 理事 (2008 年 4 月-)

IV. 学内・研究科内での委員会活動

◆研究科の委員

- (1) 地震火山・防災研究センター長
- (2) 将来構想委員会
- (3) 人権委員会
- (4) 運営委員会委員 (地球惑星)

V. 委員会・審議会等委員

◆政府関係

- (1) 文部科学省科学官 (2008 年 4 月-2012 年 3 月)
- (2) 火山噴火予知連絡会委員 (2007 年 4 月-)
- (3) 地震予知連絡会委員 (2007 年 4 月-)
- (4) 原子力安全委員会燃料安全審査会 審査委員 (2005 年 1 月-)
- (5) 原子力安全委員会耐震安全評価特別委員会委員 (2007 年 12 月-)
- (6) 国土交通省交通政策審議会臨時委員 (2007 年 9 月-)

◆地方公共団体関係

(1) 愛知県防災会議 委員 (2008年4月-)

VI. 社会との連携 (注, 地域での活動を含む)

(講演他)

- (1) 中京TV news every 出演, 2011.4.01.
- (2) NHK ラジオジャーナル 電話出演, 2011.4.08.
- (3) NHK あさいち 電話出演, 2011.4.12.
- (4) J-wave JAM THE WORLD 電話出演, 2011.4.12.
- (5) CBCラジオ 朝からPON 電話出演, 2011.4.13.
- (6) 愛知県建築物地震対策推進協議会総会講演「東日本大地震が地震学に突きつけた大きな課題」, 昭和ビル (名古屋市中区), 2011.5.19.
- (7) 第40回国土地理院報告会基調講演「東北地方太平洋沖地震-今回の地震でわかったこと-」, 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区), 2011.6.03.
- (8) 名大祭研究室公開「だれでもわかる地震のしくみ」, 名古屋大学理学部E館 (名古屋市中区), 2011.6.04.
- (9) 名大祭テーマ企画「私たちがいつも笑顔であるために-きたる東海地震にそなえて-」, 名古屋大学シンポジオンホール (名古屋市中区), 2011.6.05.
- (10) 山梨政経懇話会「東海地震にどう備える-発生のメカニズムと防災-」, 古名屋ホテル (山梨県甲府市), 2011.6.08.
- (11) YBS (山梨放送) ワイドニュース 出演, 2011.6.08.
- (12) 科学技術を学ぶノダ! の会」第1回会合「東日本大震災の科学的考察と今後起こりうる大規模地震について」, 野田聖子議員事務所 (東京都千代田区), 2011.6.09.
- (13) 平成23年度みずほ自治会総会「東海・東南海・南海地震に備える」, ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 (名古屋市中区), 2011.6.15.
- (14) CBCラジオ 朝からPON 電話出演, 2011.6.16.
- (15) 愛知産業安全衛生大会 特別講演「東海・東南海地震と津波に備えて」, 名古屋市公会堂 (名古屋市中区), 2011.7.07.
- (16) 第52回全国IE年次大会 講演「地震予知はどこまでできるか」, 名古屋観光ホテル (名古屋市中区), 2011.7.07.
- (17) CBCラジオ 朝からPON「開局記念日&地震防災スペシャル」スタジオ出演, 2011.8.31
- (18) 防災を考える安全な家造りセミナー パネルディスカッション パネリスト, ヒルトン名古屋 (名古屋市中区), 2011.9.04.
- (19) 空気調和・衛生工学会公開講演会 名古屋大学IB電子情報館 (名古屋市中区), 2011.9.14
- (20) 岐阜市生涯学習センター主催講座「地震予知の科学-東海地震の予測と防災」, ハートフルスクエアG (岐阜県岐阜市), 2011.9.29.
- (21) 応急危険度判定士講習会 地震に関する講演, 中区役所ホール (名古屋市中区), 2011.10.18
- (22) 大垣市防災ひとつくり塾 (公開講座)「大垣で起こりうる地震災害」, 大垣市情報工房5F スイックホール (岐阜県大垣市), 2011.11.13.

- (23) 核融合科学研究所 第21回国際土岐コンファレンス市民学術講演会「巨大地震のナゾを解く」,セラトピア(岐阜県土岐市),2011.11.29.
- (24) 瑞穂区地域助成活動促進事業交流大会(地域助成活動講演会)「東海・東南海・南海地震に備えて」,瑞穂区役所講堂(名古屋市瑞穂区),2011.12.14.
- (25) 市民のためのシンポジウム「東日本大震災から学ぶ」パネルディスカッションコーディネータ豊明市商工会館1F イベントホール(愛知県豊明市),2011.12.3.
- (26) クラブ東海1月午さん会「東日本大震災の被害発生のしくみを考える」,クラブ東海ホール(名古屋市中区),2012.1.25.
- (27) 東西三河地区合同理科(物理・化学)教育研究会「地震と揺れ 予測と対策」,愛知県立時習館高等学校西館(愛知県豊橋市),2012.2.3.
- (28) 防災士研修会「地震のしくみと被害」,愛知建設業会館(名古屋市中区),2012.3.4.
- (29) 組織学会中部支部・日本情報経営学会中部支部共催 防災の組織論講演会「南海トラフ巨大地震の想定について」,愛知学院大学楠本キャンパス(名古屋市中種区),2012.3.24.

I. 鈴木 康弘

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆学術論文(レフェリーあり)

- (1) 谷口薫・渡辺満久・鈴木康弘・澤 祥,糸魚川-静岡構造線活断層系中北部で新たに得られた活動時期,地震第2輯,64,11-21,2011.8.
- (2) 鈴木康弘,2011,東日本大震災の「想定外」問題について,日本の科学者,46,1347-1355,2011.11.
- (3) 渡辺満久・中田 高・鈴木康弘・小岩直人,下北半島北西端周辺の地震性隆起海岸地形と海底活断層,活断層研究,36,1-10,2012.3.
- (4) Nakata Takashi, Hideaki Goto, Mitsuhsa Watanabe, Yasuhiro Suzuki, Azusa Nishizawa, Noriaki Izumi, Daishi Horiuchi And Yukari Kido, 2012, Active Faults along Japan Trench and Source Faults of Large Earthquakes, Proceedings of the International Symposium on Engineering Lessons Learned from the 2011 Great East Japan Earthquake, 2011.3.

◆学術論文(レフェリーなし)

- (1) 鈴木康弘,2011,東日本大震災の「想定外」問題について,地理,56-6,78-82,6月.
- (2) 鈴木康弘・渡辺満久・中田 高,2011,福島第一原発を襲った津波の高さについての疑問,科学,81,842-845,9月.
- (3) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム(代表:鈴木康弘),2011,2万5千分の1津波被災マップ,地理,56-6,49-57,6月

◆著書(共著,翻訳を含む)

- (1) 鈴木康弘,2012,地震災害と変動地形学,杉浦芳夫編著「地域環境の地理学」第2章,12-25,朝倉書店,2012.3.

◆その他の論文, 著書

- (1) 鈴木康弘・杉戸信彦・堤 浩之・後藤秀昭・廣内大助・熊原康博・松多信尚・澤 祥・渡辺満久・中田 高, 活断層の地表形状・ずれ量データにもとづく地震発生予測, 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画平成 22 年度年次報告, 課題番号: 1704. 2012.3.

◆学術研究発表等 (注: 招待講演の場合はその旨を付記)

- (1) 渡辺満久・中田 高・鈴木康弘・後藤秀昭・堤 浩之・谷口 薫・澤 祥, 横手盆地の変動地形と活構造, 日本地球惑星科学連合, 千葉, 2011.5.
- (2) 澤 祥・渡辺満久・鈴木康弘, 横手盆地東縁断層帯南部・横手市西方に新たに認定された活断層-群列ボーリングにより確認される変位の累積-, 日本地球惑星科学連合大会, 千葉, 2011.5.
- (3) 杉戸信彦・鈴木康弘・岡田篤正・金田平太郎・東郷正美・中田 高・廣内大助・渡辺満久・内田主税・岐阜県防災課, 「1:25,000 岐阜県活断層図」とそのオンライン公開, 日本地球惑星科学連合大会, 千葉, 2011.5.
- (4) 中田 高・後藤秀昭・渡辺満久・鈴木康弘・徳山英一・佐竹健治・隈元 崇・西澤あずさ・伊藤弘志・松浦律子, 新しい海底活断層図からみた南海トラフの地震像, 日本地球惑星科学連合大会, 千葉, 2011.5.
- (5) 松多信尚・後藤秀昭・堀 和明・鈴木康弘・廣内大助・海津正倫・田村賢哉・杉戸信彦・地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム, 東北地方太平洋沖地震に伴う津波被災 2 万 5 千分の 1 マップ (多賀城-旭), 日本地球惑星科学連合大会, 千葉, 2011.5.
- (6) 鈴木康弘・渡辺満久・中田 高・後藤秀昭・海津正倫, 地理学会災害対策本部津波被災マップ作成チーム, 東北地方太平洋沖地震に伴う津波被災 2 万 5 千分の 1 マップ (青森県階上町~宮城県塩竈市), 日本地球惑星科学連合大会, 千葉, 2011.5.
- (7) 中田 高・後藤秀昭・渡辺満久・鈴木康弘・西澤あずさ・泉 紀明・伊藤弘志, 日本海溝沿いの活断層と地震に関する予察的考察, 日本地球惑星科学連合大会, 千葉, 2011.5.
- (8) 中田 高・後藤秀昭・渡辺満久・鈴木康弘, 海底活断層の分布特性からみた日本海溝と南海トラフの地震, 日本地理学会 2011 年秋季大会, 大分, 2011.9.
- (9) 渡辺満久・中田 高・後藤秀昭・鈴木康弘, 日本海溝沿いの活断層の分布と地震・津波. 日本地理学会 2011 年秋季大会, 大分, 2011.9.
- (10) 中田 高・後藤秀昭・渡辺満久・鈴木康弘, 日本海溝と南海トラフの海底活断層にもとづく地震特性の比較, 日本地震学会秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (11) 渡辺満久・中田 高・鈴木康弘, 断層活動か膨潤作用かー日本の原発安全審査における「断層露頭」解釈への疑問ー, 日本活断層学会秋季学術大会, 千葉, 2011.11.
- (12) 千田良道・鈴木康弘・杉戸信彦, 航空レーザ測量データによる地形俯瞰方法の検討, 日本活断層学会秋季学術大会, 千葉, 2011.11.
- (13) 中田 高・後藤秀昭・渡辺満久・鈴木康弘・西澤あずさ・堀内大嗣・木戸ゆかり, 相模トラフから三重会合点周辺の海底活断層と地震 (予報), 日本活断層学会秋季学術大会, 千葉, 2011.11.
- (14) 鈴木康弘, 2011 年日本活断層学会論文賞受賞講演. 日本活断層学会 2011 年度秋季学術大会, 千葉, 2011.11.

- (15) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム・鈴木康弘, 東北地方太平洋沖地震による津波被災マップの経緯と意義. 日本地理学会 2012 年春季大会, 東京, 2012.3.
- (16) 鈴木康弘, シンポジウムオーガナイザーコメント (東日本大震災と地理学—ハザードマップを再考する—). 日本地理学会 2012 年春季大会, 東京, 2012.3.
- (17) 渡辺満久・中田 高・後藤秀昭・鈴木康弘・隈元 崇・徳山英一・西澤あずさ・木戸ゆかり, 日本海溝とその周辺の活断層と巨大地震. 日本地理学会 2012 年春季大会, 東京, 2012. 3.
- (18) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム (代表: 鈴木康弘)・松多信尚, 2011 年東北地方太平洋沖地震の縮尺 1:25,000 広域津波被災マップ—空中写真実体視判読による検討. 日本地理学会 2012 年春季大会, 東京, 2012.3.
- (19) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム (代表: 鈴木康弘)・杉戸信彦, 空中写真の実体視判読に基づく 2011 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震の津波浸水域の認定. 日本地理学会 2012 年春季大会, 東京, 2012.3.
- (20) 中田 高・後藤秀昭・渡辺満久・鈴木康弘, 日向海盆およびその周辺の海底活断層の位置・形状と大地震. 日本地理学会 2012 年春季大会, 東京, 2012.3.
- (21) Nakata Takashi, Hideaki Goto, Mitsuhisa Watanabe, Yasuhiro Suzuki, Azusa Nishizawa, Noriaki Izumi, Daishi Horiuchi And Yukari Kido, Active Faults along Japan Trench and Source Faults of Large Earthquakes, International Symposium on Engineering Lessons Learned from the 2011 Great East Japan Earthquake. 2012.3.

◆その他 (発表, 講演)

- (1) 東海地方の地震, 三重さきもり塾, 三重大学, 2011.4.16.
- (2) 安全社会構築に向けた大学の役割—東日本大震災を受けて—, 中部国大協大学監事会, 2011.5.19.
- (3) 東日本大震災が提起した問題, 土地区画整理士協会, 名古屋市, 2011.6.10.
- (4) 「想定外」ではなかった東日本大震災から我々は何を学ぶべきか?, 岐阜高校・NHK プラネット, 岐阜市民会館, 2011.6.15.
- (5) 東日本大震災から学ぶ東海地方の巨大地震への備え, 明治生命, 岡崎市, 2011.6.22.
- (6) 地震の起こり方と東海地方の地震, 名古屋市主催, 名古屋市, 2011.7.3.
- (7) 地震活動期における活断層の問題, NSL 勉強会, 名古屋市, 2011.7.9.
- (8) 災害を大きくする地理的要因, 高大連携「高校生防災セミナー」, 名古屋大学, 2011.07. 26.
- (9) 東日本大震災から学ぶ東海地方の地震への備え, 名古屋キワニスクラブ, 名古屋市, 2011.7.29.
- (10) 東日本大震災が再提起した「低頻度巨大災害」問題, 中部哲学会, 三重大学, 2011.9.25.
- (11) 阿寺断層北部の現状と減災対策, 下呂市防災講演会, 下呂市, 2011.10.6.
- (12) 濃尾地震に学ぶ, 岐阜県濃尾地震講演会, 岐阜市, 2011.10.18.
- (13) 東日本大震災の教訓, 高年大学主催, 名古屋市, 2011.10.24.
- (14) 中部圏の地震への備え, 玉野コンサルタントシンポジウム, 名古屋市, 2011.10.25.
- (15) 濃尾地震パネルディスカッション, 濃尾地震シンポジウム, 名古屋大学, 2011.10.28.
- (16) 東日本大震災から学ぶべきこと, 豊橋防災講演会, 豊橋市, 2011.12.7.

- (17) 「活断層列島」の状況, NSL 勉強会, 名古屋大学, 2012.1.28.
- (18) 災害予測に関する社会的要求水準と責任, 学術会議シンポジウム, 東京, 2012.2.11.
- (19) 東日本大震災から学ぶ, 愛知トヨタ防災講演会, 名古屋市, 2012.2.27.

◆その他 (知的財産等)

- (1) 特許, 液体下の表面形状測定方法及びそのシステム, 山野・鈴木・村瀬・大川・宮下, 出願番号 (2005-005824 , 2005 年 01 月), 特許番号 (4729694 , 2011 年 04 月), 日本国

III. 国内外での学術活動

◆学会の理事, 評議員等

- (1) 日本活断層学会事務局長, 理事, 2008-.
- (2) 日本地理学会代議員, 2008-.

◆学会, シンポジウムの主催

- (1) 名古屋大学防災アカデミー主催 (10 回)
- (2) 名古屋大学震災関連シンポジウム「東日本大震災から学ぶ」(名古屋大学・RU11 共催), 2011.6.11.
- (3) 「防災・減災シンポジウムー東日本大震災から学ぶ災害医療と地域連携ー」(名古屋大学・朝日新聞共催), 2011.9.3.
- (4) 「濃尾地震 120 年シンポジウム」(名古屋大学・日本活断層学会・国立大学協会共催), 2011.10.28.

◆学術的イニシアチブ

- (1) 糸魚川ー静岡構造線活断層情報ステーション, 研究プロジェクト変動地形学グループのホームページ, 2008/04/01-.
- (2) 地震予知事業における変動地形学的活断層研究 (代表), 2009/04/01-.
- (3) 減災連携研究の推進, 2010/12/01-.

◆学術賞等

- (1) 日本活断層学会論文賞, 日本活断層学会, 2011/11/26.

IV. 学内, 研究科内での委員会活動

◆全学の委員会

- (1) 総長補佐 (防災担当), 2011/07/01-.
- (2) 災害対策室長, 2004-2011/06/31.
- (3) 社会連携委員会委員, 2006-2012/03/31.

V. 委員会, 審議会等委員

◆政府関係

- (1) 日本学術会議連携会員, 2011/10/03-.
- (2) 地震調査研究推進本部地震調査委員会専門委員, 1996-.
- (3) 内閣府原子力安全委員会専門委員, 2007-2011/04.
- (4) 国土交通省国土地理院全国活断層帯情報整備検討委員会委員, 2008-.

◆地方公共団体関係

- (1) 愛知県地震被害予測検討委員会委員, 2011-.

(2) 名古屋市地震被害予測検討委員会委員, 2011-.

(3) 三重県地域活断層調査委員会委員, 1996-.

VI. 社会との連携 (注: 地域での活動を含む)

(1) 災害対策室長として地域防災の実践, 2004-2011.6.

(2) NSL「マスコミと大学研究者による防災ネットワーク」立ち上げ, 2001-

(3) 減災連携研究センター整備

VII. 国際学術交流 (注: 科研費以外のものも含む)

(1) モンゴル国立地理学研究所との活断層共同研究, 2005-.

I. 鷺谷 威

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆学術論文 (レフェリーあり)

(1) Ito, T., K. Ozawa, T. Watanabe, and T. Sagiya, Slip distribution of the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake inferred from geodetic data, Earth Planets Space, Vol.63(7), pp.627-630, 2011.

(2) Sagiya, T., H. Kanamori, Y. Yagi, J. Mori, and M. Yamada, Rebuilding seismology, Nature, Vol.473(7346), pp.146-148, 2011.

(3) Ohzono, M., T. Sagiya, K. Hirahara, M. Hashimoto, A. Takeuchi, Y. Hosono, Y. Wada, K. Onoue, F. Ohya, and R. Doke, Strain accumulation process around the Atotsugawa fault system in the Niigata-Kobe Tectonic zone, central Japan, Geophys. J. Int., Vol.184(3), pp.977-990, 2011.

◆学術論文 (レフェリーなし)

(1) 鷺谷 威, 東北地方太平洋沖地震-何が起きたのか、何を考えたのか-, 日本の科学者, Vol. 46, No. 11, 4-10, 2011.

◆学術研究発表等 (注: 招待講演の場合はその旨を付記)

(1) Sagiya, T., T. Ito, T. Watanabe, and K. Ozawa, Crustal deformation associated with the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku earthquake (M9.0), Seismological Society of America Annual Meeting, Memphis, TN, USA, 2011.04. (招待講演)

(2) 鷺谷 威・西村卓也・松多信尚, GPS 連続観測による北部糸魚川-静岡構造線断層帯周辺の地殻上下変動, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.

(3) 高田陽一郎・勝俣 啓・片尾 浩・小菅正裕・飯尾能久・鷺谷 威, 歪集中帯大学合同地震観測グループ, 跡津川断層における応力蓄積メカニズム: 地殻不均質構造の影響, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.

(4) Gunawan Endra, Takeshi Sagiya, Takeo Ito, Fumiaki Kimata, Takao Tabei, Didik Sugiyanto, Irwandi, Viscoelastic Model of 2004 Sumatra-Andaman Earthquake observed from near (AGNeSS) and far field GPS measurements, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.

(5) 橋本祐匡・里村幹夫・生田領野・島田誠一・松村正三・加藤照之・原田 靖・鷺谷 威, 東海

- 地域の面積歪変化と想定東海地震のアスペリティ (続報), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (6) 鷺谷 威・山中佳子, 南海トラフの巨大地震と巨大分岐断層, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (7) Wallis Simon・小澤和浩・森 宏・鷺谷 威・中村俊夫, Deformation of Lake Shorelines and Mid Crustal Flow in Tibet, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (8) 竹村裕樹・鷺谷 威, 稠密 GPS データを用いた ALOS/PALSAR 干渉画像の電離層遅延補正, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (9) 鷺谷 威・伊藤武男・松多信尚・高橋浩晃・三浦 哲・太田雄策・加藤照之・福田淳一・竹内章・楠本成寿・宮崎真一・田部井隆雄・松島 健・中尾 茂・原田昌武・棚田俊收・小澤 拓・河野裕希・奥田 隆・堀川信一郎・山口照寛・一柳昌義, GPS 稠密観測による日本海東縁ひずみ集中帯の地殻変動 (2), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (10) 岡崎仁一・鷺谷 威, 四国周辺のプレート境界で発生する多様なすべり現象の空間的相補性, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (11) 鷺谷 威, 稠密 GPS 観測結果から見る日本列島内陸部の変形様式, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (12) 小澤和浩・鷺谷 威, GPS データから推定される東北日本のプレート間固着分布の時空間変化, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (13) Sagiya, T., T. Ito, T. Watanabe, and K. Ozawa, Crustal deformation associated with the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku earthquake (M9.0), IUGG General Assembly, Melbourne, Australia, 2011.07.
- (14) Sagiya, T. and Y. Yamanaka, Role of mega-splay faulting in the rupture process of great earthquakes along the Nankai Trough, IUGG General Assembly, Melbourne, Australia, 2011.07.
- (15) Sagiya, T. and H. Okazaki, Complementarity of coseismic slip, afterslip and slow slip on the western Nankai Trough plate boundary, IUGG General Assembly, Melbourne, Australia, 2011.07.
- (16) Sagiya, T., M. Ohzono, T. Nishimura, K. Ozawa, and Y. Hoso, Dense GPS observation and deformation characteristics around active fault zones in central Japan, IUGG General Assembly, Melbourne, Australia, 2011.07.
- (17) Sagiya, T. and Y. Takemura, Ionospheric correction of ALOS/PALSAR interferogram using dense GPS data, AOGS2011, Taipei, Taiwan, 2011.08.
- (18) Sagiya, T., and the High Strain Zone GPS Observation Group, Crustal deformation of the high strain zone along the eastern Japan Sea Margin revealed by dense GPS observation, AOGS2011, Taipei, Taiwan, 2011.08
- (19) 光井能麻・鷺谷 威, M9 巨大地震の発生を説明する地震発生サイクルモデル, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.

- (20) 鷺谷 威・小澤和浩, 歪み集中帯 GPS 観測グループ, 地震間・地震時・地震後の応答から見る東北日本島弧の変形特性, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (21) Gunawan, E., T. Sagiya, T. Ito, F. Kimata, T. Tabei, I. Meilano, D. Sugiyanto, Irwandi, Afterslip Following 2004 Sumatra–Andaman Earthquake in Northern Sumatra Deduced from AGNeSS data, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (22) 高田陽一郎・勝俣 啓・片尾 浩・小菅正裕・飯尾能久・鷺谷 威, 歪集中帯大学合同地震観測グループ, 跡津川断層周辺で発生する微小地震のメカニズム解: より詳細な広域応力場の理解に向けて, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (23) 伊藤武男, 鷺谷 威, 兵藤 守, 野口拓美, 里嘉千茂, モンテカルロ手法を用いた断層すべりに関する空間解像度の最適化手法の構築, 日本測地学会第 116 回講演会, 高山, 2011.10.
- (24) 鷺谷 威, 関根秀太郎, 長岡盆地西縁断層帯周辺における稠密 GPS 観測(序報), 日本測地学会第 116 回講演会, 高山, 2011.10.
- (25) Sagiya, T., Asymmetry between interseismic strain accumulation and coseismic strain release in northeastern Japan associated with the 2011 Tohoku earthquake, AGU Fall Meeting, San Francisco, USA, 2010.12.

◆その他 (発表, 講演)

- (1) 飛騨地方の地震と活断層, 日本測地学会第 116 回講演会, 2011 年公開講座「測地学が解明する飛騨・高山の地震・火山活動と地殻変動」, 高山市民文化会館小ホール, 2011.10.29.

III. 国内外での学術活動

◆学会の理事, 評議員等

- (1) 日本地震学会東北地方太平洋沖地震対応臨時委員会委員長 2011.
- (2) 日本地震学会代議員, 2010-2011.
- (3) 日本測地学会評議員, 2010-2011.

◆学術賞等

- (1) Excellence in Reviewing, American Geophysical Union, アメリカ合衆国, 2011.08.09.

◆学会, シンポジウムの主催

- (1) 連動性研究会, 名古屋大学, 2012.02.02.

IV. 学内, 研究科内での委員会活動

◆研究科内の委員会

- (1) 将来構想委員会

V. 委員会, 審議会等委員

◆政府関係

- (1) 科学技術・学術審議会測地学分科会専門委員 (観測研究推進委員会委員) 2011-.
- (2) 地震調査研究推進本部政策委員会調査観測計画部会委員 2004-.
- (3) 地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会海溝型分科会委員 2001-2004, 2011-.
- (4) 名古屋市緊急提言会議委員 2011-.
- (5) 名古屋市地震対策専門委員会委員 2011-.

VI. 社会との連携 (注, 地域での活動を含む)

(講演他)

- (1) 「次は東海地震?～阿智村で日本の地震活動を考える～」, 長野県阿智村, 2011.6.10.
- (2) パネリスト, 震災関連シンポジウム「東日本大震災から学ぶ」, 名古屋大学, 2011.6.11.
- (3) 「巨大地震の理解と備え」, 愛知県蟹江町, 2011.6.26.
- (4) スーパーサイエンスハイスクール: 地学分野研修, 名古屋市立向陽高等学校 (2年生 6名), 名古屋大学, 2011.07.21-22.
- (5) 「東日本大震災と南海トラフ」, Network for Saving Life 例会, 名古屋大学, 2011.7.27.
- (6) パネリスト, 第4回, 地震災害緊急シンポジウム, 名古屋市中区役所ホール, 2011.7.30.
- (7) 「大地震の発生予測を目指して」, 名古屋大学公開講座, 2011.8.25.
- (8) 「東海地域で想定すべき地震活動」, 災害ボランティア連絡会, 伏見ライフプラザ, 名古屋市, 2011.9.1.
- (9) 「東日本大震災に学び、東海・東南海・南海地震に備える」, 応急危険度判定士講習会, 名古屋市中区役所ホール, 2011.9.8.
- (10) 「東北地方太平洋沖地震: 想定外の巨大地震はなぜ、どのように起きたのか?」, 名古屋大学理学部同窓会講演会, 名古屋大学, 2011.10.15.
- (11) 「東海地震発生のメカニズムと想定被害～地震を知ることから、防災につなげる～」, 名古屋市東生涯学習センター公開講座, 名古屋市東生涯学習センター, 2011.10.19.
- (12) 「次の東海・東南海地震はどんな地震か?」, テクノアイ技術セミナー2011 in 名古屋, ANA ホテルグランコート名古屋, 2011.10.31.
- (13) 「上越・中越の地震と地殻変動」, 上越市立大島中学校, 2011.11.09.
- (14) 「地震を知り、地震に備える」, 山県市伊自良北小学校 PTA, 2011.11.13.
- (15) 「巨大地震の理解と備え～その時、津島はどうなるのか～」, 津島ホテルの会防災学習会, 津島東高校, 2011.11.13.
- (16) 「地球と地震の話」, 関市武芸小学校, 2011.11.30.
- (17) 「日本列島を襲う巨大地震—東日本大震災、三連動地震と研究の現状—」, 損保協会地震保険損害処理演習, 名古屋銀行協会会議室, 2011.12.1.
- (18) 「地球と地震の話」, 山県市伊自良北小学校, 2012.1.25.
- (19) 「地震のイロハ」, 「東日本大震災と南海トラフ地震」, NSL 勉強会, 名古屋大学, 2012.1.28.
- (20) 「東海・東南海・南海地震を知る」, 名古屋中ロータリークラブ卓話, 名古屋観光ホテル, 2012.1.30.
- (21) 「来るべき巨大地震の正体を探る」, 災害ボランティアコーディネーター養成講座, 名古屋ポートビル, 2012.2.19.
- (22) 「東日本大震災の謎を地殻変動から考える」, げんさいカフェ, 名古屋大学, 2012.2.21.

VII. 国際学術交流

- (1) GEM Faulted Earth Workshop, Menlo Park, CA, USA, 2011.9.18-21.
- (2) カナリア諸島 GPS 観測, スペイン, 2012.1.11-17.

I. 渡辺俊樹

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆ 学術論文 (レフェリーあり)

- (1) Watanabe, T., Shimizu, H., Tobita, J., Abe, S. and Shiraishi, K. , Imaging basement structure beneath the Noubi Plain, central Japan using strong motion records of natural earthquakes, Proceedings of the 10th SEGJ International Symposium 'Imaging and Interpretation', pp. 96-99 , 2011.

◆ 学術論文 (レフェリーなし)

- (1) 渡辺俊樹・清水英彦・飛田 潤・阿部 進・白石和也, 強震動記録の自己相関解析による濃尾平野の構造推定, 物理探査学会第 124 回(平成 23 年度春季)学術講演会講演論文集, pp. 71-74, 2011.

◆ 著書 (共著, 翻訳を含む)

- (1) Proceedings of the 10th SEGJ International Symposium - Imaging and Interpretation, Society of Exploration Geophysicists of Japan, Toshiki Watanabe (Chief Editor), 2011.

◆ 学術研究発表等 (注: 招待講演の場合はその旨を付記)

- (1) 小林由実・渡辺俊樹・山岡耕春・生田領野, 西上欽也, ACROSS を用いた野島断層構造のモニタリング, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (2) 吉田沙由美・山中佳子・中道治久・渡辺俊樹・寺川寿子・堀川信一郎, アレイ観測による深部低周波微動の P 波および移動の検出, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (3) 山岡耕春・生田領野・渡辺俊樹・道下剛史・野口静男・宮川 衛, 低周波制御震源を用いた地下伝達関数取得実験, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (4) 山崎文人・山中佳子・渡辺俊樹・中道治久・寺川寿子・奥田 隆・堀川信一郎・黒田育実・柴山由里子, 御嶽山および周辺域での最近の地震活動の推移とその特徴, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (5) 飯高 隆・加藤愛太郎・生田領野・吉田康宏・勝俣 啓・岩崎貴哉・酒井慎一・津村紀子・山岡耕春・渡辺俊樹・國友孝洋・山崎文人・大久保慎人・鈴木貞臣・平田 直, 東海地域における異方性観測, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (6) 渡辺俊樹・清水英彦・飛田 潤・阿部 進・白石和也, 濃尾平野の地震基盤構造推定への自己相関解析の適用, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (7) 山中佳子・吉田沙由美・中道治久・渡辺俊樹・寺川寿子, 鳳来アレイ観測による深部低周波微動の検出, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (8) 渡辺俊樹・清水英彦, 強震動記録の相関解析 (続き) - 構造情報抽出の試みに向けて -, 平成 23 年度東京大学地震研究所特定共同研究(B)「リソスフェアの短波長不均質性のイメージングとモニタリングに関する研究の高度化」研究集会 , 東京, 2011.09.
- (9) 宮町宏樹・井口正人・山岡耕春・渡辺俊樹・八木原 寛・為栗 健・三ヶ田 均・竹中博士・清水 洋, アクロスによる桜島火山のマグマ移動検出に向けた能動的アプローチ, 日本火山学会 2011 年秋季大会, 旭川, 2011.10.
- (10) 山岡耕春・渡辺俊樹・道下剛史・宮町宏樹・井口正人, 桜島における ACROSS 観測可能性の

- 検討, 日本火山学会 2011 年秋季大会, 旭川, 2011.10.
- (11) 辻 琢允・渡辺俊樹, 地震波干渉法を用いた地殻構造イメージングに関するシミュレーションスタディ, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (12) 國友孝洋・吉田康宏・勝間田明男・山岡耕春・渡辺俊樹・加藤愛太郎・飯高 隆・生田領野・勝俣 啓・岩崎貴哉・酒井慎一・山崎文人・津村紀子・野崎謙治・高橋福助・大久保慎人・鈴木貞臣・平田 直, 弾性波アクロスによる土岐-森町-牧之原測線下の地殻構造の推定, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (13) Yamaoka, K., Watanabe, T., Michishita, T., Miyamachi, H. and Iguchi, M. , Monitoring for Active Volcanoes - A challenge at Sakurajima volcano, AGU 2010 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12. [招待講演]
- (14) Iidaka, T., Kato, A., Ikuta, R., Yoshida, Y., Katsumata, K., Iwasaki, T., Sakai, S., Tsumura, N., Yamaoka, K., Watanabe, T., Kunitomo, T., Yamazaki, F., Okubo, M., Suzuki, S. and Hirata, N. , The lateral variation of the shear-wave splitting values just above the subducting ridge, AGU 2010 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.

III. 国内外での学術活動

◆ 学会の理事, 評議員等

- (1) 日本地球惑星科学連合, 広報・アウトリーチ委員会, 委員, 2005-.
- (2) (社) 物理探査学会, 国際委員会, 副委員長, 2007-2011.
- (3) (社) 物理探査学会, トンネル探査研究委員会, WG 委員, 2009-2011.
- (4) (社) 物理探査学会, 学会賞審査委員会, 委員, 2010-2011.
- (5) (財) 地球システム総合研究所, 評議員, 2003-.

IV. 学内, 研究科内での委員会活動

◆ 研究科内の委員会

- (1) 計画評価委員会 (環境学研究科) 委員, 2010-.

V. 委員会, 審議会等委員

- (1) 地震予知研究協議会計画推進部会, モニタリング部会, 部会長, 2009-.
- (2) 地震予知研究協議会計画推進部会, 観測・実験技術部会, 委員, 2004-.
- (3) Environment Protection and Safety Panel, Science Advisory Structure, Integrated Ocean Drilling Program, 2003-.
- (4) 日本掘削科学コンソーシアム, IODP 部会, 環境保護安全専門部会, 委員, 2003-.
- (5) (独) 日本原子力研究開発機構, 客員研究員, 2004-2011.
- (6) (独) 宇宙航空研究開発機構, SELENE プロジェクト共同研究, 2008-.
- (7) (財) 防災研究協会, 客員研究員, 1998-.
- (8) (財) 地震予知総合研究振興会, 地殻活動研究委員会, 委員, 2006-.
- (9) 日本 CCS 調査 (株) 技術委員会, 委員, 2010-2011.

VI. 社会との連携

- (1) スーパーサイエンスハイスクール: 地学分野研修, 名古屋市立向陽高等学校 (2年生6名), 名古屋大学, 2011.07.21-22.

I. 飛田 潤

II. 論文，著書，研究発表等

◆学術論文（レフェリーあり）

- (1) 西澤崇雄・大野富男・飛田潤・福和伸夫，CFT柱における充填コンクリートの収縮挙動に関する実験的研究，日本建築学会技術報告集，第18巻，第38号，pp.209-214，2012.2.
- (2) 今枝賢志朗・飛田潤・福和伸夫・矢代晴実・曾我裕，光ファイバセンサによる高層建物解体時の柱軸変形の計測，構造工学論文集，Vol.58B，pp.145-152，2012.3.
- (3) 豊部立・飛田潤・福和伸夫・西澤崇雄，振動実験・強震観測に基づく名古屋テレビ塔の振動特性，構造工学論文集，Vol.58B，pp.153-162，2012.3.

◆学術論文（レフェリーなし）

- (1) 渡辺俊樹・清水英彦・飛田潤・阿部進・白石和也，濃尾平野の地震基盤構造推定への自己相関解析の適用，日本地球惑星科学連合2011年大会，千葉，2011.5.
- (2) 西澤崇雄・大野富男・飛田潤・福和伸夫，モード学園スパイラルタワーズにおけるライフタイムモニタリング，STRUCTURE，No.119，pp.50-51，2011.7.
- (3) 飛田潤・小島宏章・福和伸夫・護雅史，平成23年東北地方太平洋沖地震における名古屋地域の地盤・建物の地震観測記録（その1）地震観測記録の概要，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.337-338，2011.8.
- (4) 小島宏章・飛田潤・福和伸夫・護雅史，平成23年東北地方太平洋沖地震における名古屋地域の地盤・建物の地震観測記録（その2）中低層建物と免震建物の地震応答性状，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.339-340，2011.8.
- (5) 高橋広人・福和伸夫・護雅史・飛田潤，継続時間の長い強震動予測手法に関する研究，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.69-70，2011.8.
- (6) 橋本朋子・田中清和・福和伸夫・飛田潤・護雅史，地震リスクの説明力向上のための名所江戸百景の活用，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.165-166，2011.8.
- (7) 海野元伸・福和伸夫・飛田潤，高密度強震観測・振動実験に基づくPCaPC造建物の層及び基礎-地盤系の復元力特性評価，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.361-362，2011.8.
- (8) 今枝賢志朗・飛田潤・福和伸夫・矢代晴実，光ファイバセンサによる高層建物解体時の柱軸変形の計測，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.371-372，2011.8.
- (9) 豊部立・福和伸夫・飛田潤，常時微動計測・人力加振実験に基づく名古屋テレビ塔の振動特性の推定，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.373-374，2011.8.
- (10) 平山義治・飛田潤・長江拓也・福和伸夫，ネットワーク接続小型地震計の多点同時観測による高層建物試験体の損傷検出，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.439-440，2011.8.
- (11) 西澤崇雄・大野富男・飛田潤・福和伸夫，構造性能把握のためのライフタイムモニタリングの提案，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.841-842，2011.8.
- (12) 池田政人・林孝幸・倉田和己・福和伸夫・護雅史・飛田潤，公開資料を用いた簡易地震被害推定と地域対応力とに基づく耐震化目標設定に向けた考察，日本建築学会学術講演梗概集，B-2，pp.893-894，2011.8.
- (13) 護雅史・福和伸夫・飛田潤・鈴木康弘，減災連携研究センターと東日本大震災・情報集約

- 拠点の設置, 日本建築学会学術講演梗概集, B-2, pp.937-938, 2011.8.
- (14)脇田久美子・福和伸夫・護 雅史・飛田 潤, 津波による人的被害と標高・人口分布の関連についての考察, 日本建築学会学術講演梗概集, B-2, pp.971-972, 2011.8.
- (15)鈴木承慈・護 雅史・福和伸夫・飛田 潤, 東日本大震災に関わる人的被害について, 日本建築学会学術講演梗概集, B-2, pp.973-974, 2011.8.
- (16)田中佑治・福和伸夫・護 雅史・飛田 潤, 東日本大震災に関わるライフラインの被害と復旧について, 日本建築学会学術講演梗概集, B-2, pp.975-976, 2011.8.
- (17)倉田和己・護 雅史・福和伸夫・飛田 潤, ヘッドマウントディスプレイを活用した地震の揺れ体験による減災行動の誘導, 日本建築学会学術講演梗概集, B-2, pp.979-980, 2011.8.
- (18)曾我 裕・福和伸夫・護 雅史・飛田 潤, 大地震後の中高層建物の解体に関する一考察, 日本建築学会学術講演梗概集, B-2, pp.981-982, 2011.8.
- (19)福和伸夫・護 雅史・飛田 潤, 常時微動 H/V スペクトルと地形・地盤震動特性の関係, 日本建築学会東海支部研究報告集, 2012.2.
- (20)豊部 立・飛田 潤・福和伸夫, 振動実験及び継続的な振動観測に基づく名古屋テレビ塔の振動特性の推定, 日本建築学会東海支部研究報告集, 2012.2.
- (21)海野元伸・飛田 潤・福和伸夫, 強震観測記録に基づく PCaPC 造建物の上部構造及び基礎・地盤系の複素剛性評価, 日本建築学会東海支部研究報告集, 2012.2.
- (22)今枝賢志朗・飛田 潤・福和伸夫・矢代晴実, 光ファイバセンサによる柱の動的軸変形計測に基づく高層建物の固有振動特性の推定, 日本建築学会東海支部研究報告集, 2012.2.
- (23)田中佑治・高橋武宏・福和伸夫・飛田 潤・護 雅史, 2011 年東北地方太平洋沖地震において足柄平野に建つ免震住宅で観測された応答変位と H/V スペクトルの関係, 日本建築学会東海支部研究報告集, 2012.2.

◆その他（発表・講演）

- (1) 自然災害時の対応と平常時からの安全対策, 新規採用職員安全衛生講習, 名古屋大学, 2011.4.19.
- (2) 揺れをはかるー東日本大震災の揺れと被害から考える振動モニタリング技術の将来, 名古屋大学防災アカデミー, 2011.4.27.
- (3) 実測・実験から体感・実感へつなげるー地震工学・防災分野の技術高度化と成果普及, 三重大学, 2011.6.10.
- (4) 東日本大震災に学ぶー中学生にできること・すべきこと, 安城市中学生防災リーダー講習会, 2011.6.12.
- (5) 名古屋大学の地震防災対策ー将来の東海地震・東南海地震を想定してー, 大学施設マネジメント研究会, 名古屋大学, 2011.6.16.
- (6) 地域と大学による防災協働社会の実現, 美浜町・日本福祉大学防災学習会, 2011.7.16.
- (7) 大学の地震防災対策ー東海地域の将来の地震災害にむけて, 東海北陸国立大学環境安全衛生担当者連絡会, 名古屋大学, 2011.7.21.
- (8) 地震防災を自然ー都市ー社会のつながりから考える, 津高校大学模擬授業, 2011.7.27.
- (9) 東日本大震災に学ぶ巨大地震への備え, 一宮防災ボランティアコーディネータ養成講座,

2011.7.31.

- (10)被災建物の応急危険度判定講習会，名古屋市中区役所，2011.9.8.
- (11)大災害に対応するためにいま必要なことー東日本大震災の教訓から一人ひとりが学ぶ，東浦町・阿久比町防災リーダー，災害ボランティアコーディネータ養成講座，2011.9.25.
- (12)大学の地震防災，シンポジウム「広域大規模災害と情報基盤の減災」，名古屋大学，2011.9.30.
- (13)大学の地震防災対策，名古屋大学防災講習会，2011.10.18.
- (14)名古屋大学の地震防災活動ー環境学が支える地域と学内の安全安心ー，第34回国立大学法人大学院環境科学研究科長等会議，名古屋大学，2011.10.21.
- (15)防災講座，総合防災防犯フェスタ，西尾市立西尾小学校，2011.10.22.
- (16)東日本大震災の謎を地震工学から考える，げんさいカフェ，名古屋大学，2011.10.24.
- (17)名古屋地域の地震防災対応，ハイパーネットワーク2011別府湾会議，別府，2011.11.4.
- (18)災害時に活動するために今すぐすべきことー災害のリスクを知り，いえとまちを安全に，瑞穂区避難所運営リーダー研修，瑞穂区役所，2011.11.12.
- (19)大地震による建物の揺れと被害～防災安全の立場から～，OKB 減災セミナー，名古屋市，2011.11.13.
- (20)地震！その時に備えてー巨大地震から命を守る職場環境を作るー，ブラザー刈谷工場防災研修会，2011.11.28.
- (21)Earthquake Disaster Mitigation in Japan，短期留学生防災講義，2012.1.13.
- (22)将来の巨大地震災害に向けて，管区内警備部長会議，愛知県警察本部，2012.1.24
- (23)名古屋を襲う巨大地震災害ー大都市で予測される震災のすがたと備えについて考える，熱田区防災公開講座，熱田区役所，2012.1.28.
- (24)東海地域の地震防災対策ー近い将来の東海・東南海地震を想定して，一宮市自主防災リーダー研修会，一宮市役所尾西庁舎，2012.2.4.
- (25)東海・東南海・南海地震での名古屋市の被害，東区・東日本大震災現地ボランティア報告会，東区役所，2012.2.11.
- (26)東海地域の地震防災対策ー近い将来の東海・東南海地震を想定して，豊橋市介護保険関係事業者等連絡会・地震災害研修交流会，2012.2.13.
- (27)東海地域の地震防災対策ー近い将来の巨大地震災害を想定して，東海市地域防災リーダーフォローアップ講座，東海市役所，2012.2.19.

IV. 学内・研究科内での委員会活動

◆全学の委員会

- (1) 全学計画・評価担当者会議委員，2005ー.
- (2) 環境安全衛生推進本部会議委員，2011ー.

V. 委員会・審議会等委員

◆地方公共団体関係

- (1) 愛知県建築住宅センター耐震診断判定部会委員，1996ー.
- (2) 愛知県建築住宅センター耐震改修評定部会委員，1996ー.
- (3) 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査委員，2011ー.

- (4) 名古屋市地震対策専門委員会委員，2011ー。
- (5) (社) 社会基盤技術評価支援機構・中部，名高速東海線振動予測検証検討委員会委員，2011ー。

VI. 社会との連携

- (1) 名古屋地域地震防災研究会（名震研），1998ー。
- (2) 名古屋大学災害対策室，2003ー。
- (3) NPO 法人レスキューストックヤード理事，2004ー。

I. 田所敬一

II. 論文，著書，研究発表等

◆学術論文（レフェリーあり）

- (1) Tadokoro, K., R. Ikuta, T. Watanabe, M. Ando, T. Okuda, S. Nagai, K. Yasuda, and T. Sakata, Interseismic seafloor crustal deformation immediately above the source region of anticipated megathrust earthquake along the Nankai Trough, Japan, *Geophys. Res. Lett.*, doi:10.1029/2012GL051696, 2011, in press.
- (2) Nihara, Y., Tadokoro, K., Y. Yukutake, R. Honda, and H. Ito, Spatial distribution of crack structure in the focal area of a volcanic earthquake swarm at the Hakone volcano, Japan, *Earth Planet Space*, 2011, in press.
- (3) Fujimoto, H., M. Kido, Y. Osada, K. Tadokoro, T. Okuda, Y. Matsumoto, and K. Kurihara, Long-term stability of acoustic benchmarks deployed on thick sediment for GPS/Acoustic seafloor positioning, *Accretionary Prisms and Convergent Margin Tectonics in the Northwest Pacific Basin*, Springer, 2011.

◆学術論文（レフェリーなし）

- (1) 田所敬一，名古屋大学の海底地殻変動観測：観測成果と今後の課題，地震予知連絡会報，86巻 pp.632-634，2011.
- (2) 田所敬一，東北地方太平洋沖地震：地殻変動と余震等の見通し，日本地震工学会誌，2011.
- (3) 田所敬一，海底の動きが物語る地球のストレス発散準備，愛知県建築物震後対策推進協議会だより，13号，pp.2，2011.

◆学術研究発表等（注：招待講演の場合はその旨を付記）

- (1) 丹原 裕・田所敬一，箱根火山の群発地震発生域におけるS波スプリッティング解析，日本地球惑星科学連合2011年大会，千葉，2011.05.
- (2) 藤本博己・田所敬一，木戸元之，海域の震源域における固着状態の時間的・空間的変動の海底測地モニタリングに向けて，日本地球惑星科学連合2011年大会，千葉，2011.05.
- (3) 田所敬一・生田領野・渡部 豪・永井 悟・江藤周平・奥田 隆，熊野灘における海底地殻変動観測，日本地球惑星科学連合2011年大会，千葉，2011.05.
- (4) 生田領野・田所敬一・奥田 隆・杉本慎吾・渡部 豪・安藤雅孝，GPS/音響結合海底地殻変動解析における海中音速の傾斜構造の導入，日本地球惑星科学連合2011年大会，千葉，2011.05.

- (5) 江藤周平・永井 悟・ 田所敬一・渡部 豪・ 生田領野, 海底地殻変動観測の高精度化に向けた海中音速構造の推定方法の検討, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (6) 永井 悟・ 田所敬一・ 江藤周平・ 生田領野・ 渡部 豪, 海底地殻変動観測システムの高精度化に向けた音響測距データからの海中音波速度構造情報の抽出, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (7) 渡部 豪・ 田所敬一・生田領野・ 奥田 隆・ 永井 悟・ 江藤周平・ 久野正博, 衛星軌道暦の違いに基づく KGPS 解析の精度評価 (続報), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (8) 藤井昌和・ 田所敬一・ 生田領野・ 永井 悟・ 渡部 豪・ 江藤周平, 海底地殻変動観測における音響測距の高精度化に向けて- 海面での反射波を含む音響信号波形に関する数値実験-, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (9) 坂田 剛・生田領野・ 田所敬一, 海底地殻変動計測システムにおける適切なブイ配置の設計, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (10) 永井 悟・ 小澤和浩・ 伊藤武男・ 田所敬一, 中部日本における 2011 年東北地方太平洋沖地震前後での地震活動の変化と地震発生率変化に関連する応力・ひずみ変化, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (11) 丹原 裕・ 田所敬一・行竹洋平・本多 亮・伊東 博, 箱根火山における 2009 年の群発地震発生とクラック分布との関係, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (12) 渡部 豪・ 田所敬一・生田領野・永井 悟・奥田 隆・久野正博, 陸域 GPS 観測網と海底地殻変動観測より推定される南海トラフのすべり欠損速度, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (13) 田所敬一・生田領野・渡部 豪・永井 悟・奥田 隆, 東南海地震の想定震源域における海底地殻変動モニタリング, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (14) 永井 悟・江藤周平・坂田 剛・ 田所敬一・渡辺 豪・安田健二・生田領野, 海底地殻変動観測の精度向上に向けた音響測距データ解析, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (15) 江藤周平・永井 悟・ 田所敬一, 地震学的手法を用いた海底地殻変動観測のための海中音速構造の時空間変化の検出, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (16) 藤本博己・木戸元之・日野亮太・ 田所敬一・佐藤まりこ・石川直史・浅田 昭・望月将志, 海底 GPS 観測の高度化に向けて-2011 年東北沖地震を受けて-, 日本測地学会第 116 回講演会, 高山 2011.10.
- (17) Tadokoro, K., T. Watanabe, S. Nagai, T. Okuda, R. Ikuta, S. Eto, K. Yasuda, T. Sakata, and K. Syanagi, Monitoring of Seafloor Crustal Deformation Along the Suruga-Nankai Trough, Japan, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.
- (18) Eto, S., S. Nagai, and K. Tadokoro, Detection of spatio-temporal change of ocean acoustic velocity for observing seafloor crustal deformation applying seismological methods, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.
- (19) Nagai, S., S. Eto, K. Tadokoro, and T. Watanabe, Detection of anomalies in ocean acoustic velocity structure and their effect in sea-bottom crustal deformation measurement:

synthetic test and future suggestion, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.

(20) Watanabe, T., K. Tadokoro, R. Ikuta, T. Okuda, S. Nagai, and M. Kuno, Crustal deformation at the Nankai subduction zone inferred from onshore GPS velocities and seafloor geodetic observations, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.

(21) Ikuta, R., K. Tadokoro, T. Watanabe, S. Nagai, and T. Okuda, Surface Reflection Phase in Two Way Acoustic Signal in Oceanic Crustal Deformation Measurement, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.

III. 国内外での学術活動

◆学会の理事, 評議員等

- (1) 日本地震学会 理事 (災害調査担当)
- (2) 日本地震学会 災害調査委員会 委員長
- (3) 日本地球惑星科学連合 環境・災害対応委員会 委員

IV. 学内, 研究科内での委員会活動

◆全学の委員会

- (1) 全学技術センター 計測・制御技術系連絡委員会 委員
- (2) 理学部技術連絡会 委員
- (3) 理学部技術連絡会 専門委員会 人事選考委員会 委員
- (4) 理学部技術連絡会 専門委員会 将来計画委員会 委員
- (5) 旧理学部技術室 装置開発系ユーザー連絡会 委員

◆研究科内の委員会

- (1) 組織運営委員会 委員

V. 委員会, 審議会等委員

◆政府関係

- (1) 地震・火山噴火予知研究協議会「新たな観測技術の開発」計画推進部会委員
- (2) 海底地殻変動観測技術の高度化 運営委員会 委員

VI. 社会との連携 (注, 地域での活動を含む)

(講演他)

- (1) 中日懇話会, 東日本大震災後の中部地方の地震環境, オークラアクトシティホテル浜松, 2011.05.17
- (2) 石尾台自主防災リーダー研修会, 過去の地震から学ぶ地震災害と事前の備え, 春日井市立石尾台小学校, 2011.05.21.
- (3) 三機工業 (株) 安全大会, 関東地方の地震発生要素とその災害, 三機工業 (株) 大和事業所, 2011.07.01.
- (4) 鎌倉台中学校教員研修, 地震災害から子供や地域を守るには, 名古屋市立鎌倉台中学校, 2011.07.11
- (5) スーパーサイエンスハイスクール: 地学分野研修, 名古屋市立向陽高等学校 (2年生6名), 名古屋大学, 2011.07.21-22.

- (6) 理科教育ワークショップ研究会, 地震・津波災害とその防災対策・教育のあり方について, 福井大学, 2011.07.23.
- (7) 岡崎市 PTA 指導者学習会, 中部地方を襲う地震とその対策, 岡崎市福祉会館, 2011.08.09.
- (8) 鎌倉台中・大清水小合同家庭教育セミナー, 親子で考える地域の地震災害と防災, 名古屋市立鎌倉台中学校, 2011.09.07.
- (9) 中区防火管理者協議会, 東日本大震災と中部地方における地震・津波への備え, 伏見ライフプラザ, 2011.10.21.
- (10) 川島地区防災講演会, 地震による地盤災害について, 四日市市川島地区市民センター, 2011.10.30.
- (11) 地域家庭教育セミナー, 地震災害から子供や地域を守るには, 名古屋港湾会館, 2011.11.25.
- (12) 第 27 回名古屋市小児科医会連続勉強会, 中部地方の地震環境, ～これから起こりうる地震とその災害～, 愛知県医師会館, 2011.11.26.
- (13) 小牧市自主防災会・婦人消防クラブ合同リーダー研修会, 中部地方を襲う地震災害と事前の備え, 小牧市東部市民センター, 2012.01.22.
- (14) 日本塗料商業協同組合中部ブロック研修会, 中部地方を襲う地震と地震災害, 名古屋通信会館, 2012.02.06.
- (15) 南伊勢町民防災講演会, 東海・東南海地震と地域防災, 南伊勢町ふれあいセンターなんとう, 2012.03.17.

VII. 国際学術交流

- (1) One Year after 2011 Great East Japan Earthquake" International Advisory Committee, 2012.03.03-04

I. 山中佳子

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆学術論文 (レフェリーあり)

- (1) Ishibe Takeo, Kunihiko Shimazaki, Hiroshi Tsuruoka, Yoshiko Yamanaka and Kenji Satake , Correlation between Coulomb stress changes imparted by large historical strike-slip earthquakes and current seismicity in Japan , Earth Planets Space , Vol. 63 , pp.301-314 , 2011.
- (2) Kato, A., S. Sakai, T. Iwasaki, E. Kurashimo, T. Igarashi, N. Hirata, T. Kanazawa, K. Katsumata, H. Takahashi, R. Honda, T. Maeda, M. Ichianagi, T. Yamaguchi, M. Kosuga, T. Okada, J. Nakajima, S. Hori, T. Nakayana, A. Hasegawa, T. Kono, S. Suzuki, N. Tsumura, Y. Hiramatsu, K. Sugaya, A. Hayashi, T. Hirose, A. Sawada, K. Tanaka, Y. Yamanaka, H. Nakamichi, T. Okuda, Y. Iio, K. Nishigami, M. Miyazawa, H. Wada, N. Hirano, H. Katao, S. Ohmi, K. Ito, I. Doi, S. Noda, S. Matsumoto, T. Matsushima, A. Saiga, H. Miyamachi, K. Imanishi, T. Takeda, Y. Asano, Y. Yukutake, T. Ueno, T. Maeda, T. Matsuzawa, S. Sekine, M. Matsubara, and K. Obara, Anomalous depth dependency of the stress field in the 2007 Noto Hanto, Japan, earthquake: Potential involvement of a

deep fluid reservoir , Geophys. Res. Lett. , Vol. 38 , 2011.

- (3) Koketsu, K., Y. Yokota, N. Nishimura, Y. Yagi, S. Miyazaki, K. Satake, Y. Fujii, H. Miyake, S. Sakai, Y. Yamanaka, T. Okada , A unified source model for the 2011 Tohoku earthquake , EPSL , Vol. 310 , pp.480-487 , 2011.

◆学術研究発表等（注：招待講演の場合はその旨を付記）

- (1) 石辺岳男・島崎邦彦・鶴岡 弘・山中佳子・佐竹健治・室谷智子, 過去の横ずれ型大地震による静的クーロン応力変化と近年の地震活動の相関性, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (2) 鷺谷 威・山中佳子, 南海トラフの巨大地震と巨大分岐断層, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (3) 山崎文人・山中佳子・渡辺俊樹・中道治久・寺川寿子・奥田 隆・堀川信一郎・黒田育実・柴山由里子, 御嶽山および周辺域での最近の地震活動の推移とその特徴, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (4) 中道治久・寺川寿子・山中佳子・吉本昌弘・上田英樹・河野裕希・棚田俊收・松島 健・松澤孝紀・山崎文人・奥田 隆・堀川信一郎, 地震計, 傾斜計でみた 2011 年新燃岳噴火活動, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (5) 山中佳子・吉田沙由美・中道治久・渡辺俊樹・寺川寿子・堀川信一郎, 鳳来アレイ観測による深部低周波微動の検出, 2011 年新燃岳噴火活動, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (6) 吉田沙由美・山中佳子・中道治久・渡辺俊樹・寺川寿子・堀川信一郎, アレイ観測による深部低周波微動の P 波および移動の検出, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (7) Tu Yoko・安藤雅孝・熊谷博之・山中佳子, Lin Cheng-Horng, Distribution and focal mechanisms of very low frequency earthquakes along the Ryukyu trench axis in 2007-2008, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (8) 安藤雅孝・Tu Yoko・ Lin Cheng-Horng ・山中佳子, 琉球海溝西端域における超低周波地震の最近 7 年間の活動, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (9) 山中佳子・吉本昌弘, 遠地実体波解析による東北地方太平洋沖地震震源域の特徴, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (10) 中道治久・山中佳子・寺川寿子・堀川信一郎・奥田 隆・山崎文人, 長期間アレイ地震解析からみた新燃岳の噴火活動推移, 日本火山学会 2011 年秋季大会, 旭川, 2011.10.
- (11) 山中佳子, Characteristic of asperities for large earthquakes in Japan, 日中女性科学者シンポジウム, 北京, 中国, 2010.09.
- (12) Yoshimoto, M., Y. Yamanaka, and N. Takeuchi, Characteristic of asperities for large earthquakes in Japan, AGU 2010 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2010.12.

◆その他（発表, 講演）

- (1) アスペリティ分布と本震すべりの関係, 地震予知協議会, 2011.04.19.

- (2) 地震を知ろう！, 高大連携「高校生防災セミナー」, 名古屋大学, 2011.07.25.
- (3) 地震波でみた東日本大震災, 日本表面科学会中部支部市民講座, 2011.07.30.
- (4) 長期間アレイ地震解析から見た新燃岳 2011 年噴火活動推移, 新燃シンポジウム, 鹿児島大学, 2011.08.01.
- (5) 東北地方太平洋沖地震は想定外? アスペリティモデルは破綻したか?, 東濃地震科学研究所, 2011.08.23.
- (6) 巨大地震発生メカニズムの解明へー過去から未来への挑戦, そして東日本大震災ー, スーパーサイエンスハイスクール (SSH)「自然科学部交流会」、名古屋大学, 2011.10.22
- (7) 地震のメカニズム, NHK文化センター「ひとの大学」講義, NHK文化センター名古屋教室, 2011.10.26
- (8) 東日本大震災の謎を地震学者と考える その2「津波地震」, げんさいカフェ, 2011.12.26

III. 国内外での学術活動

◆学会の理事, 評議員等

- (1) 日本地震学会代議員
- (2) 日本地震学会災害調査委員(2006.04-)

◆学術的イニシアチブ

- (1) NGY 地震学ノート, http://www.seis.nagoya-u.ac.jp/sanchu/Seismo_Note/, 2007.04.01-.

IV. 学内, 研究科内での委員会活動

◆研究科内の委員会

- (1) 男女参画委員会
- (2) ネットワーク委員

V. 委員会, 審議会等委員

◆政府関係

- (1) 地震調査研究推進本部地震調査委員(2008.03-)
- (2) 測地学審議会地震火山部会委員(2009.04-)
- (3) 土木学会津波評議員(2007.03-)

I. 橋本千尋

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆学術論文 (レフェリーあり)

- (1) Hok, S., Fukuyama, E. & Hashimoto, C., Dynamic rupture scenarios of anticipated Nankai-Tonankai earthquakes, southwest Japan, *J. Geophys. Res.*, 116, B12319, 2011.
- (2) Hashimoto, C., Noda, A. & Matsu'ura, M., The Mw 9.0 northeast Japan earthquake: total rupture of a basement asperity, *Geophys. J. Int.*, 189, 1-5, 2012.

◆学術研究発表等

- (1) 野村有紀・橋本千尋, 二次元準静的剪断破壊のシミュレーション: すべりと時間に依存する断層構成則とすべり運動の多様性, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (2) 寺川寿子・橋本千尋・尾形良彦・松浦充宏, 東北地方太平洋沖地震による誘発地震の発生メ

カニズム, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.

IV. 学内, 研究科内での委員会活動

◆研究科内の委員会

- (1) 環境学研究科広報委員会委員
- (2) 理学部建築委員会委員
- (3) 地球惑星科学系研究委員会委員

I. 伊藤 武男

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆ 学術論文 (レフェリーあり)

- (1) Ito, T., K. Ozawa, T. Watanabe, and T. Sagiya, Slip distribution of the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake inferred from geodetic data, *Earth Planets and Space*, 63, 627-630, 2011.
- (2) Ito, T. and M. Simons, Probing asthenospheric density, temperature and elastic moduli below the Western United States, *Science*, 322, 6032, 947-951, 2011.

◆学術研究発表等 (注: 招待講演の場合はその旨を付記)

- (1) Sagiya, T., T. Ito, T. Watanabe, K. Ozawa, Crustal deformation associated with the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake (M9.0), Annual Meeting of the Seismological Society of America, 2011.04.
- (2) 鷺谷 威・伊藤武男・松多信尚・高橋浩晃・三浦 哲・太田雄策・加藤照之・福田淳一・竹内 章・楠本成寿・宮崎真一・田部井隆雄・松島 健・中尾 茂・原田昌武・棚田俊收・小澤 拓・河野裕希・奥田 隆・堀川信一郎・山口照寛・一柳昌義, 全 GPS 稠密観測による日本海東縁ひずみ集中帯の地殻変動 (2), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (3) 永井 悟・小澤和浩・伊藤武男・田所敬一, 中部日本における 2011 年東北地方太平洋沖地震前後での地震活動の変化と地震発生率変化に関連する応力・ひずみ変化, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (4) 伊藤武男・Mark Simons, アメリカ西海岸におけるアセノスフェアの密度, 温度, 弾性定数の推定, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (5) Sagiya, T., T. Ito, T. Watanabe, K. Ozawa, Crustal deformation associated with the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake (M9.0), IUGG General Assembly 2011, 2011.07.
- (6) Gunawan, E., T. Sagiya, T. Ito, F. Kimata, T. Tabei, I. Meilano, D. Sugiyanto, Irwandi, Afterslip Following 2004 Sumatra-Andaman Earthquake in Northern Sumatra Deduced from AGNeSS data, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011.10.
- (7) 伊藤武男・兵藤 守・野口 拓美・里 嘉千茂・鷺谷 威, モンテカルロ手法を用いた断層すべりに関する空間解像度の最適化手法の構築, 日本測地学会第 116 回講演会, 高山, 2011.10.
- (8) Ito, T., Lecture of OTL tomography and spatial variations in Fault Coupling on the GFS, Lecture for understanding several topics, Indonesia, 2011.10. [招待講演]

- (9) Ito, T. and Mark Simons, Probing asthenospheric density, temperature and elastic moduli below western United States, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12. [招待講演]
- (10) Ito, T., Spatial variations in Fault Coupling on the northern portion of the Great Sumatran Fault, International workshop on Active Tectonics in subduction zone geodesy research group, Indonesia, 2012.01.

III. 国内外での学術活動

- (1) (社)日本地震学会 地方連絡員

VI. 社会との連携（注，地域での活動を含む）

（講演他）

- (1) 震災・津波への対応行動についての講演, 名古屋港, 2011.06
- (2) 地震・防災の講演,水南公民館, 2011.06
- (3) SSH 地学分野別研修, 2011.07
- (4) 教員免許状更新講習, 2011. 07
- (5) 地震・津波教訓から学ぶ 震災・津波への対応行動, 2011.09
- (6) 「命を守る」防災対策講習会, 2011. 12
- (7) 地震防災セミナー -水南小学区を知ろう-, 2012.01
- (8) 瀬戸市公民館大会 過去の地震・津波教訓から学ぶ「大地震に備えて」, 2012.03

VII. 国際学術交流

- (1) Caltech との共同研究
- (2) ITB との共同研究
- (3) シアクラ大学との共同研究

I. 中道治久

II. 論文，著書，研究発表等

◆ 学術論文（レフェリーあり）

- (1) Kato, A., S. Sakai, T. Iwasaki, E. Kurashimo, T. Igarashi, N. Hirata, T. Kanazawa, K. Katsumata, H. Takahashi, R. Honda, T. Maeda, M. Ichiyanagi, T. Yamaguchi, M. Kosuga, T. Okada, J. Nakajima, S. Hori, T. Nakayana, A. Hasegawa, T. Kono, S. Suzuki, N. Tsumura, Y. Hiramatsu, K. Sugaya, A. Hayashi, T. Hirose, A. Sawada, K. Tanaka, Y. Yamanaka, H. Nakamichi, T. Okuda, Y. Iio, K. Nishigami, M. Miyazawa, H. Wada, N. Hirano, H. Katao, S. Ohmi, K. Ito, I. Doi, S. Noda, S. Matsumoto, T. Matsushima, A. Saiga, H. Miyamachi, K. Imanishi, T. Takeda, Y. Asano, Y. Yukutake, T. Ueno, T. Maeda, T. Matsuzawa, S. Sekine, M. Matsubara, and K. Obara, Anomalous depth dependency of the stress field in the 2007 Noto Hanto, Japan, earthquake: Potential involvement of a deep fluid reservoir , Geophys. Res. Lett. , Vol. 38 , 2011.

◆ 学術研究発表等（注：招待講演の場合はその旨を付記）

- (1) Nakamichi, H., Aoyama, H., Nishimura, T., Yakiwara, H., Ohta, Y., and Iguchi, M.,

Array analyses of tremor and explosion earthquakes recorded at Suwanosejima volcano, southwest Japan, European Geosciences Union General Assembly 2011, vol.13, EGU2011-5174-1, 2011.04.

- (2) 山崎文人・山中佳子・渡辺俊樹・中道治久・寺川寿子・奥田 隆・堀川信一郎・黒田育実・柴山由里子, 御嶽山および周辺域での最近の地震活動の推移とその特徴, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (3) 中道治久・寺川寿子・山中佳子・吉本昌弘・上田英樹・河野裕希・棚田俊收・松島 健・松澤孝紀・山崎文人・奥田 隆・堀川信一郎, 地震計, 傾斜計でみた 2011 年新燃岳噴火活動, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (4) 山中佳子・吉田沙由美・中道治久・渡辺俊樹・寺川寿子・堀川信一郎, 鳳来アレイ観測による深部低周波微動の検出, 2011 年新燃岳噴火活動, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (5) 吉田沙由美・山中佳子・中道治久・渡辺俊樹・寺川寿子・堀川信一郎, アレイ観測による深部低周波微動の P 波および移動の検出, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (6) 中道治久・山中佳子・寺川寿子・堀川信一郎・奥田 隆・山崎文人, 長期間アレイ地震解析からみた新燃岳の噴火活動推移, 日本火山学会 2011 年秋季大会, 旭川, 2011.10.
- (7) 中道治久・青山 裕・西村太志・八木原 寛・太田雄策・横尾亮彦・井口正人, 諏訪之瀬島火山で発生する爆発地震と微動のアレイ解析, 日本火山学会 2011 年秋季大会, 旭川, 2011.10.

◆ その他 (発表・講演)

- (1) 中道治久・青山裕・西村太志・八木原寛・太田雄策・井口正人, 課題名: 機動的な多項目観測による火山爆発機構の研究, 地震計アレイ観測からみた諏訪之瀬島火山の爆発的噴火過程, 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画平成 23 年度成果報告シンポジウム, P2-054, 2012.3.

IV. 学内, 研究科内での委員会活動

◆ 研究科内の委員会

- (1) 交通安全委員会 (理学部) 委員, 2010-.

V. 委員会・審議会等委員

- (1) 地震・火山噴火予知協議会 計画推進部会 「日本列島及び周辺域の長期・広域の地震・火山現象」部会 メンバー (委員), 2009年4月-現在

VII. 国際学術交流

- (1) 往訪: 英国ブリストル大学地球科学学校客員研究員, 組織敵な若手研究者海外派遣プログラム, 受入研究者: Michael Kendall 教授, 派遣期間 2011 年 4 月 12 日~9 月 30 日.

I. 寺川 寿子

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆ 学術論文 (レフェリーなし)

- (1) Terakawa, T., S.A. Miller, and N. Deichmann, High fluid pressure and triggered earthquakes in the enhanced geothermal system in Basel, Switzerland, International

Symposium on Statistical Modeling and Real-time Probability Forecasting for Earthquakes, 17, 2012.

◆学術研究発表等（注：招待講演の場合はその旨を付記）

- (1) 山崎文人・山中佳子・渡辺俊樹・中道治久・寺川寿子・奥田 隆・堀川信一郎・黒田育実・柴山由里子, 御嶽山および周辺域での最近の地震活動の推移とその特徴, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (2) 中道治久・寺川寿子・山中佳子・吉本昌弘・上田英樹・河野裕希・棚田俊收・松島 健・松澤孝紀・山崎文人・奥田 隆・堀川信一郎, 地震計, 傾斜計でみた 2011 年新燃岳噴火活動, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (3) 山中佳子・吉田沙由美・中道治久・, 渡辺俊樹・寺川寿子・堀川信一郎, 鳳来アレイ観測による深部低周波微動の検出, 2011 年新燃岳噴火活動, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (4) 吉田沙由美・山中佳子・中道治久・渡辺俊樹・寺川寿子・堀川信一郎, アレイ観測による深部低周波微動の P 波および移動の検出, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (5) 松浦充宏・野田朱美・寺川寿子・尾形良彦, 島弧地殻の非弾性変形と内陸地震の発生：基本的考え方, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (6) 寺川寿子, 地震の CMT データから推定される日本列島域の 3 次元テクトニック応力場, 京都大学防災研究所, 地震予知センター, 地震・火山研究グループ研究会, 2011.9.
- (7) 中道治久・山中佳子・寺川寿子・堀川信一郎・奥田 隆・山崎文人, 長期間アレイ地震解析からみた新燃岳の噴火活動推移, 日本火山学会 2011 年秋季大会, 旭川, 2011.10.
- (8) 寺川寿子・橋本千尋・尾形良彦・松浦充宏, 東北地方太平洋沖地震による誘発地震の発生メカニズム, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (9) 寺川寿子, 地震の CMT データから推定される日本列島域の 3 次元テクトニック応力場, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10. [招待講演]
- (10) 松浦充宏・野田朱美・寺川寿子・尾形良彦, 島弧地殻の非弾性変形と内陸地震の発生：背景としてのテクトニック応力場, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (11) Terakawa, T., S.A. Miller, and N. Deichmann, High fluid pressure and triggered earthquakes in the enhanced geothermal system in Basel, Switzerland, AGU 2011 Fall Meeting, S41C-2201, 2011.12.
- (12) 寺川寿子, L'Aquila 地震の特徴, 貯留層から発生する微小地震に関する WS, 東北大学工学部・機械知能研究棟, 2012.1.21.
- (13) 寺川寿子, 東北地方太平洋沖地震による誘発地震の発生メカニズム, 連動性研究会, 名古屋, 2012.2.2.

III. 国内外での学術活動

◆学会の理事, 評議員等

- (1) 米国地球物理学会
- (2) (社)日本地震学会

IV. 学内, 研究科内での委員会活動

◆研究科内の委員会

(1) 図書委員会

I. 杉戸 信彦

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆その他の論文, 著書

- (1) 後藤秀昭・池田安隆・杉戸信彦・中田 高・平川一臣・宮内崇裕, 2011, 「1:25,000 都市圏活断層図富良野断層帯とその周辺「富良野南部」, 国土地理院技術資料 D1-No.579.
- (2) 後藤秀昭・石黒聡士・杉戸信彦, 2011, 津波被災マップの地理情報を用いた津波および被害地域の特徴, 月刊地理, 56-6, 72-76.
- (3) 後藤秀昭・杉戸信彦・平川一臣, 2011, 「1:25,000 都市圏活断層図富良野断層帯とその周辺「富良野北部」「富良野南部」解説書, 国土地理院技術資料 D1-No.579, 12p+付図1・2.
- (4) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*, 2011, 2万5千分の1津波被災マップ, 月刊地理, 56-6, 49-57. * 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・海津正倫・後藤秀昭・杉戸信彦・中田 高・廣内大助・堀 和明・松多信尚・渡辺満久・宇根 寛
- (5) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*, 2011, 「2011年3月11日東北地方太平洋沖地震に伴う津波被災マップ」http://www.ajg.or.jp/disaster/201103_Tohoku-eq.html. * 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・海津正倫・後藤秀昭・杉戸信彦・中田 高・廣内大助・堀 和明・松多信尚・渡辺満久・宇根 寛
- (6) 岡田篤正・豊蔵 勇・杉戸信彦, 2011, 「「活断層百景水鳥断層崖・根尾谷断層中部区間見学会」見学案内書, 日本活断層学会活断層百選専門委員会, 64p.
- (7) 杉戸信彦, 2011, 貞観津波の規模は?, 月刊地理, 56-6, 90-95.
- (8) 杉戸信彦・池田安隆・岡田篤正・後藤秀昭・平川一臣・宮内崇裕, 2011, 「1:25,000 都市圏活断層図富良野断層帯とその周辺「富良野北部」, 国土地理院技術資料 D1-No.579.
- (9) 杉戸信彦, 2011, 箕浦幸治・池田安隆著「地球のテクトニクスI 堆積学・変動地形学」・金川久一著「地球のテクトニクスII 構造地質学」, 活断層研究, 35, 書評・紹介, 75-75.
- (10) 海津正倫・杉戸信彦・松多信尚・堀 和明・石黒聡士, 2011, 津波被災地における名古屋大グループの浸水高調査, 月刊地理, 56-12, 38-45.
- (11) 廣内大助・松多信尚・杉戸信彦・竹下欣宏, 2012, 3月12日長野県北部の地震に伴う地変と栄村周辺地域の活断層, 長野県北部地震災害調査研究報告書(信州大学山岳科学総合研究所), 9-15.
- (12) 石山達也・杉戸信彦・越後智雄・佐藤比呂志, 2012, 2011年4月11日の福島県浜通りの地震に伴う地表地震断層のトレンチ掘削調査(速報), 日本地震学会ニュースレター, 23, 5, 36-39.
- (13) 鈴木康弘・杉戸信彦・堤 浩之・後藤秀昭・廣内大助・熊原康博・松多信尚・澤 祥・渡辺満久・中田 高, 2012, 活断層の地表形状・ずれ量データにもとづく地震発生予測, 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画平成23年度年次報告, 課題番号:1704.

◆学術研究発表等(注:招待講演の場合はその旨を付記)

- (1) 吾妻 崇・杉戸信彦・堀 浩之・廣内大助・細矢卓志・眞柄耕治・伊藤太久，2011，呂知瀉断層帯石動山断層の最新活動時期に関する検討，日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集，SSS032-P14，千葉，5 月。
- (2) 石黒聡士・堀 和明・海津正倫・松多信尚・杉戸信彦・宮城豊彦・田村賢哉，2011，東北地方太平洋沖地震に伴う三陸海岸南部～仙台平野の津波の浸水域，浸水高，溯上高，日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集，MIS036-P141，千葉，5 月。
- (3) 石山達也・佐藤比呂志・杉戸信彦・越後智雄・伊藤谷生・加藤直子・今泉俊文，2011，2011 年 4 月 11 日の福島県浜通りの地震に伴う地表地震断層とそのテクトニックな背景，日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集，MIS036-P105，千葉，5 月。
- (4) 後藤秀昭・杉戸信彦・海津正倫・中田 高・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*，2011，東北地方太平洋沖地震に伴う津波遡上高分布の検討－DEMによる解析－，日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集，MIS036-P143，千葉，5 月。* 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・海津正倫・後藤秀昭・杉戸信彦・中田 高・廣内大助・堀 和明・松多信尚・渡辺満久・宇根 寛
- (5) 松多信尚・後藤秀昭・堀 和明・鈴木康弘・廣内大助・海津正倫・田村賢哉・杉戸信彦・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*，2011，東北地方太平洋沖地震に伴う津波被災 2 万 5 千分の 1 マップ（多賀城一旭），日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集，MIS036-P144，千葉，5 月。* 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・海津正倫・後藤秀昭・杉戸信彦・中田 高・廣内大助・堀 和明・松多信尚・渡辺満久・宇根 寛
- (6) 杉戸信彦・石山達也・越後智雄・佐藤比呂志・加藤直子・今泉俊文，2011，2011 年 4 月 11 日の福島県浜通りの地震に伴う地表地震断層とその変位量分布（速報），日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集，MIS036-P106，千葉，5 月。
- (7) 杉戸信彦・鈴木康弘・岡田篤正・金田平太郎・東郷正美・中田 高・廣内大助・渡辺満久・内田主税・岐阜県防災課，2011，「1:25,000 岐阜県活断層図」とそのオンライン公開，日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集，HDS029-P07，千葉，5 月。
- (8) 鈴木康弘・渡辺満久・中田 高・後藤秀昭・海津正倫・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*，2011，東北地方太平洋沖地震に伴う津波被災 2 万 5 千分の 1 マップ（青森県階上町～宮城県塩竈市），日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集，MIS036-P145，千葉，5 月。* 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・海津正倫・後藤秀昭・杉戸信彦・中田 高・廣内大助・堀 和明・松多信尚・渡辺満久・宇根 寛
- (9) 松多信尚・早川裕弐・堀 和明・Yu-Ting Kuo・杉戸信彦，2011，地上 Lidar 測量による長野県・新潟県県境付近の地震に伴う新潟県十日町市松代の泥火山の隆起，日本地形学連合 2011 年秋季大会講演要旨，P8，石川，9 月。
- (10) 松多信尚・廣内大助・杉戸信彦・竹下欣宏，2011，3 月 12 日長野県・新潟県県境付近の地震に伴う地変と被災の状況，日本活断層学会 2011 年度秋季学術大会，シンポジウム「2011 年東北地方太平洋沖地震に伴う内陸活断層の挙動と地震活動・地殻変動」，S2，招待講演，千葉，11 月。

- (11) 千田良道・鈴木康弘・杉戸信彦，2011，航空レーザ測量データによる地形俯瞰方法の検討，日本活断層学会 2011 年度秋季学術大会講演予稿集，P-01，千葉，11 月。
- (12) 杉戸信彦・松多信尚・廣内大助・石村大輔・斎藤 真・丸山陽央，2011，1847 年善光寺地震に先立つ長野盆地西縁断層帯の 3 回の活動間隔，日本活断層学会 2011 年度秋季学術大会講演予稿集，P-07，千葉，11 月
- (13) 吾妻 崇・杉戸信彦・堀 浩之・廣内大助・細矢卓志・眞柄耕治・伊藤太久，2012，邑知潟断層帯石動山断層の最新活動時期に関する検討，地質調査総合センター第 18 回シンポジウム，ポスター，東京，1 月。
- (14) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*・松多信尚，2012，2011 年東北地方太平洋沖地震の縮尺 1:25,000 広域津波被災マップ：空中写真実体視判読による検討，日本地理学会 2012 年春季学術大会発表要旨集，81，P1103，東京，3 月。* 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・内田主税・宇根 寛・海津正倫・熊原康博・後藤秀昭・小岩直人・坂上寛之・杉戸信彦・田村賢哉・中田 高・長谷川智則・廣内大助・堀 和明・松多信尚・宮城豊彦・渡辺満久
- (15) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*・鈴木康弘，2012，東北地方太平洋沖地震による津波被災マップの経緯と意義，日本地理学会 2012 年春季学術大会発表要旨集，81，102，東京，3 月。* 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・内田主税・宇根 寛・海津正倫・熊原康博・後藤秀昭・小岩直人・坂上寛之・杉戸信彦・田村賢哉・中田 高・長谷川智則・廣内大助・堀 和明・松多信尚・宮城豊彦・渡辺満久

III. 国内外での学術活動

- (1) 日本活断層学会総務委員会 委員

VI. 社会との連携

- (1) 全国活断層帯情報整備検討委員会 委員
- (2) 独立行政法人産業技術総合研究所 協力研究員
- (3) 三重県・名古屋大学共同研究 共同研究者
- (4) 愛知県立大学 非常勤講師
- (5) 椋山女学園大学 非常勤講師
- (6) 平成 23 年 6 月 2 日 平成 23 年度第 1 回 T-TOC セミナー「東日本大震災～我々ができること！～」(土木学会認定 CPD3 単位) 講師 (杉戸信彦・奥田純生・蟹井 進) 担当：「空中写真判読による津波浸水範囲の解説と現地の被害状況」
- (7) 平成 23 年 10 月 29 日 日本活断層学会活断層百選専門委員会巡検「活断層百景水鳥断層崖・根尾谷断層中部区間見学会」案内者(岡田篤正・豊蔵 勇・杉戸信彦・松多信尚・吾妻 崇)

VII. 国際学術交流 (注：科研費以外のも含む)

- (1) モンゴル国立地理学研究所との共同研究

I. 渡部 豪

II. 論文，著書，研究発表等

- ◆学術論文 (レフェリーあり)

- (1) Tadokoro, K., R. Ikuta, T. Watanabe, M. Ando, T. Okuda, S. Nagai, K. Yasuda, and T. Sakata, Interseismic seafloor crustal deformation immediately above the source region of anticipated megathrust earthquake along the Nankai Trough, Japan, *Geophys. Res. Lett.*, doi:10.1029/2012GL051696, 2011, in press.
- ◆学術研究発表等（注：招待講演の場合はその旨を付記。共同発表を含む。）
- (1) 田所敬一・生田領野・渡部 豪・永井 悟・江藤周平・奥田 隆, 熊野灘における海底地殻変動観測, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (2) 生田領野・田所敬一・奥田 隆・杉本慎吾・渡部 豪・安藤雅孝, GPS/音響結合海底地殻変動解析における海中音速の傾斜構造の導入, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (3) 江藤周平・永井 悟・田所敬一・渡部 豪・生田領野, 海底地殻変動観測の高精度化に向けた海中音速構造の推定方法の検討, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (4) 永井 悟・田所敬一・江藤周平・生田領野・渡部 豪, 海底地殻変動観測システムの高精度化に向けた音響測距データからの海中音波速度構造情報の抽出, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (5) 渡部 豪・田所敬一・生田領野・奥田 隆・永井 悟・江藤周平・久野正博, 衛星軌道暦の違いに基づく KGPS 解析の精度評価 (続報), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (6) 藤井昌和・田所敬一・生田領野・永井 悟・渡部 豪・江藤周平, 海底地殻変動観測における音響測距の高精度化に向けて・海面での反射波を含む音響信号波形に関する数値実験, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (7) 渡部 豪・田所敬一・生田領野・永井 悟・奥田 隆・久野正博, 陸域 GPS 観測網と海底地殻変動観測より推定される南海トラフのすべり欠損速度, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (8) 田所敬一・生田領野・渡部 豪・永井 悟・奥田 隆, 東南海地震の想定震源域における海底地殻変動モニタリング, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (9) 永井 悟・江藤周平・坂田 剛・田所敬一・渡部 豪・安田健二・生田領野, 海底地殻変動観測の精度向上に向けた音響測距データ解析, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (10) Tadokoro, K., T. Watanabe, S. Nagai, T. Okuda, R. Ikuta, S. Eto, K. Yasuda, T. Sakata, and K. Syanagi, Monitoring of Seafloor Crustal Deformation Along the Suruga-Nankai Trough, Japan, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.
- (11) Nagai, S., S. Eto, K. Tadokoro, and T. Watanabe, Detection of anomalies in ocean acoustic velocity structure and their effect in sea-bottom crustal deformation measurement: synthetic test and future suggestion, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.
- (12) Watanabe, T., K. Tadokoro, R. Ikuta, T. Okuda, S. Nagai, and M. Kuno, Crustal deformation at the Nankai subduction zone inferred from onshore GPS velocities and seafloor geodetic observations, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.
- (13) Ikuta, R., K. Tadokoro, T. Watanabe, S. Nagai, and T. Okuda, Surface Reflection Phase in Two Way Acoustic Signal in Oceanic Crustal Deformation Measurement, AGU 2011 Fall

Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.

I. 光井 能麻

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆学術研究発表等

- (1) 光井能麻・鷺谷 威, M9 巨大地震の発生を説明する地震発生サイクルモデル, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡 2011.10.

VI. 社会との連携

- (1) NSL (Network for Saving Lives マスメディアと研究者による地震災害軽減に関する懇話会) 企画グループ

I. 松多 信尚

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆著書

- (1) Chen, Wen-Shan, Nobuhisa Matta, Chih-Cheng Yang, Characteristics of coseismic thrust-related folding from paleoseismic investigation responsible for the 1999 Chi-Chi earthquake of central Taiwan, Earthquake Research and Analysis - Seismology, Seismotectonic and Earthquake Geology, 126-142, InTech, 2012

◆学術論文 (レフェリーあり)

- (1) S. Inoue, H. Kayanne, N. Matta, W. S. Chen, Y. Ikeda, 2011, Holocene uplifted coral reefs in Lanyu and Lutaio Islands to the southeast of Taiwan, Coral Reefs, Vol.30, pp.581-592

◆学術論文 (レフェリーなし)

- (1) 松多信尚, 地形学は東北地方太平洋沖地震を予測できたか, 地理, Vol.56-6, pp.83-89
- (2) 海津正倫・杉戸信彦・松多信尚・堀 和明・石黒聡士, 2011, 津波被災地における名古屋大グループの浸水高調査, 地理, Vol.56-12, pp.38-45
- (3) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*, 2011, 2万5千分の1津波被災マップ, 地理, Vol.56-6, pp.49-57. * 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・海津正倫・後藤秀昭・杉戸信彦・中田 高・廣内大助・堀 和明・松多信尚・渡辺満久・宇根 寛

◆学術研究発表等

- (1) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*・杉戸信彦, 2012, 空中写真の実体視判読に基づく 2011 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震の津波浸水域の認定, 日本地理学会 2012 年春季学術大会発表要旨集, 81, P1104, 東京, 3 月. * 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・内田主税・宇根 寛・海津正倫・熊原康博・後藤秀昭・小岩直人・坂上寛之・杉戸信彦・田村賢哉・中田 高・長谷川智則・廣内大助・堀 和明・松多信尚・宮城豊彦・渡辺満久
- (2) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*・松多信尚, 2012, 2011 年東北地方太平洋沖地震の縮尺 1:25,000 広域津波被災マップ: 空中写真実体視判読による検討, 日本地理学会 2012 年春季学術大会発表要旨集, 81, P1103, 東京, 3 月. * 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・内田主税・宇根 寛・海津正倫・熊原康博・後藤秀昭・小岩直人・坂上寛之・杉

戸信彦・田村賢哉・中田 高・長谷川智則・廣内大助・堀 和明・松多信尚・宮城豊彦・渡辺満久

- (3) 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*・鈴木康弘, 2012, 東北地方太平洋沖地震による津波被災マップの経緯と意義, 日本地理学会 2012 年春季学術大会発表要旨集, 81, 102, 東京, 3 月. * 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・内田主税・宇根 寛・海津正倫・熊原康博・後藤秀昭・小岩直人・坂上寛之・杉戸信彦・田村賢哉・中田 高・長谷川智則・廣内大助・堀 和明・松多信尚・宮城豊彦・渡辺満久
- (4) 石黒聡士・堀 和明・海津正倫・松多信尚・杉戸信彦・宮城豊彦・田村賢哉, 2011, 東北地方太平洋沖地震に伴う三陸海岸南部～仙台平野の津波の浸水域, 浸水高, 溯上高, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集, MIS036-P141, 千葉, 5 月.
- (5) 後藤秀昭・杉戸信彦・海津正倫・中田 高・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*, 2011, 東北地方太平洋沖地震に伴う津波遡上高分布の検討-DEM による解析-, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集, MIS036-P143, 千葉, 5 月. * 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・海津正倫・後藤秀昭・杉戸信彦・中田 高・廣内大助・堀 和明・松多信尚・渡辺満久・宇根 寛
- (6) 松多信尚・後藤秀昭・堀 和明・鈴木康弘・廣内大助・海津正倫・田村賢哉・杉戸信彦・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*, 2011, 東北地方太平洋沖地震に伴う津波被災 2 万 5 千分の 1 マップ (多賀城-旭), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集, MIS036-P144, 千葉, 5 月. * 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・海津正倫・後藤秀昭・杉戸信彦・中田 高・廣内大助・堀 和明・松多信尚・渡辺満久・宇根 寛
- (7) 鈴木康弘・渡辺満久・中田 高・後藤秀昭・海津正倫・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム*, 2011, 東北地方太平洋沖地震に伴う津波被災 2 万 5 千分の 1 マップ (青森県階上町～宮城県塩竈市), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集, MIS036-P145, 千葉, 5 月. * 鈴木康弘・石黒聡士・碓井照子・海津正倫・後藤秀昭・杉戸信彦・中田 高・廣内大助・堀 和明・松多信尚・渡辺満久・宇根 寛
- (8) 松多信尚・早川裕弐・堀 和明・Yu-Ting Kuo・杉戸信彦, 2011, 地上 Lidar 測量による長野県・新潟県県境付近の地震に伴う新潟県十日町市松代の泥火山の隆起, 日本地形学連合 2011 年秋季大会講演要旨, P8, 金沢大学, 9 月.
- (9) 松多信尚・廣内大助・杉戸信彦・竹下欣宏, 2011, 3 月 12 日長野県・新潟県県境付近の地震に伴う地変と被災の状況, 日本活断層学会 2011 年度秋季学術大会, シンポジウム「2011 年東北地方太平洋沖地震に伴う内陸活断層の挙動と地震活動・地殻変動」, S2, 招待講演, 千葉, 11 月.
- (10) 鷲谷 威・西村卓也・松多信尚, GPS 連続観測による北部糸魚川-静岡構造線断層帯周辺の地殻上下変動, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (11) 村瀬雅之・松多信尚・小澤和浩・陳 文山・Lin Cheng-Horng・小泉尚嗣, 精密水準測量によって検出された台東縦谷断層 (台湾) の非地震性クリープ, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (12) 松多信尚・石黒聡士・村瀬雅之・陳 文山, 台東縦谷断層中部玉里付近の逆断層クリープ運動

の空中写真測量による 30 年間の地表変形と水準測量および変動地形との関係, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.

- (13) 鷺谷 威・伊藤武男・松多信尚・高橋浩晃・三浦 哲・太田雄策・加藤照之・福田淳一・竹内章・楠本成寿・宮崎真一・田部井隆雄・松島 健・中尾 茂・原田昌武・棚田俊收・小澤 拓・河野裕希・奥田 隆・堀川信一郎・山口照寛, 一柳昌義, GPS 稠密観測による日本海東縁ひずみ集中帯の地殻変動(2), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (14) 石黒聡士・堀 和明・海津正倫・松多信尚・杉戸信彦・宮城豊彦・田村賢哉, 東北地方太平洋沖地震に伴う三陸海岸南部～仙台平野の津波の浸水域, 浸水高, 湖上高, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (15) 松多信尚・後藤秀昭・堀 和明・鈴木康弘・廣内大助・海津正倫・田村賢哉・杉戸信彦, 地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム, 東北地方太平洋沖地震に伴う津波被災 2 万 5 千分の 1 マップ (多賀城一旭), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (16) 村瀬雅之・松多信尚・林 瑞仁・林 正洪・陳 文山, 水準測量で検出された台東縦谷断層中部の大規模クリープ現象2011(速報), 日本測地学会第 1 1 6 回講演会, 2011.10.
- (17) Matta, N., Murase, M., Ishiguro, S., Ozawa, K., Lin, J., Chen, W.; Lin, C. Creeping Deformation by the Precise Leveling Survey at the central part of the Longitudinal Valley Fault, Southeast Taiwan, AGU, SF, 2011

V. 委員会, 審議会等委員

- (1) 日本活断層学会 秋季大会実行委員

I. 永井 悟

II. 論文, 著書, 研究発表等

◆学術論文 (レフェリーあり)

- (1) Tadokoro, K., R. Ikuta, T. Watanabe, M. Ando, T. Okuda, S. Nagai, K. Yasuda, and T. Sakata, Interseismic seafloor crustal deformation immediately above the source region of anticipated megathrust earthquake along the Nankai Trough, Japan, *Geophys. Res. Lett.*, doi:10.1029/2012GL051696, 2011, in press.

◆学術研究発表等 (注: 招待講演の場合はその旨を付記。共同発表を含む。)

- (1) 田所敬一・生田領野・渡部 豪・永井 悟・江藤周平・奥田 隆, 熊野灘における海底地殻変動観測, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (2) 江藤周平・永井 悟・田所敬一・渡部 豪・生田領野, 海底地殻変動観測の高精度化に向けた海中音速構造の推定方法の検討, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (3) 永井 悟・田所敬一・江藤周平・生田領野・渡部 豪, 海底地殻変動観測システムの高精度化に向けた音響測距データからの海中音波速度構造情報の抽出, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (4) 渡部 豪・田所敬一・生田領野・奥田 隆・永井 悟・江藤周平・久野正博, 衛星軌道暦の違いに基づく KGPS 解析の精度評価 (続報), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.

- (5) 藤井昌和・田所敬一・生田領野・永井 悟・渡部 豪・江藤周平, 海底地殻変動観測における音響測距の高精度化に向けて- 海面での反射波を含む音響信号波形に関する数値実験-, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (6) 永井 悟, 小澤和浩, 伊藤武男, 田所敬一, 中部日本における 2011 年東北地方太平洋沖地震前後での地震活動の変化と地震発生率変化に関連する応力・ひずみ変化, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉, 2011.05.
- (7) 渡部 豪・田所敬一・生田領野・永井 悟・奥田 隆・久野正博, 陸域 GPS 観測網と海底地殻変動観測より推定される南海トラフのすべり欠損速度, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (8) 田所敬一・生田領野・渡部 豪・永井 悟・奥田 隆, 東南海地震の想定震源域における海底地殻変動モニタリング, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (9) 永井 悟・江藤周平・坂田 剛・田所敬一・渡辺 豪・安田健二・生田領野, 海底地殻変動観測の精度向上に向けた音響測距データ解析, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (10) 江藤周平・永井 悟・田所敬一, 地震学的手法を用いた海底地殻変動観測のための海中音速構造の時空間変化の検出, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 静岡, 2011.10.
- (11) Tadokoro, K, T. Watanabe, S. Nagai, T. Okuda, R. Ikuta, S. Eto, K. Yasuda, T. Sakata, and K. Syanagi, Monitoring of Seafloor Crustal Deformation Along the Suruga-Nankai Trough, Japan, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.
- (12) Eto, S., S. Nagai, and K. Tadokoro, Detection of spatio-temporal change of ocean acoustic velocity for observing seafloor crustal deformation applying seismological methods, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.
- (13) Nagai, S., S. Eto, K. Tadokoro, and T. Watanabe, Detection of anomalies in ocean acoustic velocity structure and their effect in sea-bottom crustal deformation measurement: synthetic test and future suggestion, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.
- (14) Watanabe, T., K. Tadokoro, R. Ikuta, T. Okuda, S. Nagai, and M. Kuno, Crustal deformation at the Nankai subduction zone inferred from onshore GPS velocities and seafloor geodetic observations, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.
- (15) Ikuta, R., K. Tadokoro, T. Watanabe, S. Nagai, and T. Okuda, Surface Reflection Phase in Two Way Acoustic Signal in Oceanic Crustal Deformation Measurement, AGU 2011 Fall Meeting, San Francisco, USA, 2011.12.